

二十年の歩み



昭和二十四年当時

ボーイスカウト山口県連盟

1970

百万一心の歌

(行進曲風に)

① はて 一 な の こ こ ろ を う た に の せ
 ② て と な の こ こ ろ を ゆ た に の せ
 ③ せ か い を む ー す ぶ こ の ち か い

ひゃ く ま し いる いっ し んに わ が む ね に う た
 め さ げ して く い い し んに ふ が そ の ゆ た に め さ ぼ
 ー け ん じ の ぼ お ー ち よ う ふ い
 し ー の おん し えの とい おき ー し し め に い
 ち ー け ん じ の の い き ー し め そ い

① ざ い ざ ス カ ウ ト わ れ ら が れ ん め い や
 ② ざ い ざ ス カ ウ ト わ れ ら が れ ん め い や
 ③ ざ い ざ ス カ ウ ト わ れ ら が れ ん め い や

(リーダーのみ)
 (や ま ぐ ち) ひ か り あ り
 ま ぐ ち ほ こ い り り あ あ り
 め こ い り り あ あ り

『百万一心の歌』

一、花の心を 歌にのせ

百万一心 わが胸に

歌おう健児の 防長賦

いざいざスカウト われらが

連盟山口「山口」 光あり

二、手と手をつなぐ 友情の

目指す幟に 父祖の夢

三矢の訓 永久に

いざいざスカウト われらが

連盟山口「山口」 誇あり

三、世界を結ぶ この三指

捧げて悔いん 人のため

防長健児の 意気しめそ

いざいざスカウト われらが

連盟山口「山口」 名誉あり



挨拶

20周年を記念して

山口県知事・連盟長 橋本正之

創立20周年を迎えて

理事長 小島孝惇



20周年を記念して

山口県知事・連盟長 橋本正之

1970年代の第1歩を力づくよく踏み出した本年は、ボーイスカウト山口県連盟が結成されて以来、はや20年を経過しようとしています。

時、あたかも「人類の進歩と調和」をテーマに意義ある万国博覧会がわが国において開催され、世界各国からの注目と関心を集めているところであります。さらに第13回世界ジャンボリーの日本開催を来年にひかえ、第5回日本ジャンボリーが日本ボーイスカウト活動最大の行事として力づくよく展開されようとしています。

もとより、日本ジャンボリーは日本ボーイスカウトの大会であり、世界ジャンボリーは世界100余か国の青少年があい集い、野営生活を共にして相互理解と善隣友好を身をもって実践するところにその意義があります。わが山口県連盟におきましても、20年の輝かしい伝統のうえに多数の代表者をそれぞれの大会に派遣し、ボーイスカウト活動の日常実践の成果と、防長青少年の意気をいかに発揮すべく日々研さんを続けているところであります。

この時にあたり、山口県連盟創立20周年を記念して「20年のあゆみ」を刊行するに至ったことは、まことに意義深きものがありよろこばしき限りであります。

ここに、直接編集の事業にたずさわられた関係者はもちろんのこと、過去20年にわたり本連盟の進展のため献身的なご協力を賜りました幾多諸先輩のご労苦に対し、衷心より感謝の意を表するものであります。

創立以来のさまざまなでき事をじっくりと回顧し、幾多変遷のスカウト活動を具体的な歴史の中で学ぶことは、今後のスカウト活動にこのうえなきよき指針となることと信じます。

昨年8月には20周年記念山口県野営大会を玖珂町に開催し、さらに11月関係者多数の参集のもと、山口市において20周年記念式典を盛大に挙行し、結成の往時をしのびながら互に交歓すると共に、今後の前進を確認しあったところであります。さらに、ボーイスカウト諸君ならびにその育成関係者各位の限りなきご健闘をお願いするものであります。

ボーイスカウト山口県連盟の「弥栄」を祈念してあいさついたします。



創立20周年を迎えて

理事長 小島 孝 惇

20年という歳月を経て山口県スカウト運動の足どりのあとを回顧してみると、戦後連盟発足当時の関係各位の努力と気魄は、今にして思えば、青少年の将来と県ひいては日本国家の明日のために憂いを等しくして、ボーイスカウト運動こそ、その期待に答えるもっともすばらしいものとの確信のもとに発足したことを思うと、現連盟長の橋本正之先生が終戦後国民が虚脱状態にあって国家百年の計はおろか、その日その日のためにのみあくせくして希望をもたない青少年のため、本県の教育長として着任され、関係者に議ってボーイスカウト運動の発足に特別の指導と配慮をいただいたことは忘れがたいものの一つであります。

スカウト運動が「開拓者精神」をもはっきりと堅持して進んでいることからしても、常に進歩進歩を目指して、自己を鍛え、ともに人のため世のために積極的に協力していく活動力こそスカウト活動の本領とも言えましょう。

彼の有名な「動物記」の著者、トムソン、シートンの若かりしころの「学究意欲」の旺盛であったことの逸話を思い出してみましょう。

ロンドン大英博物館の「動物に関する書籍」が未成年者に閲覧させられないことを知って、次々に博物館司書長を動かし、ひいては館長に訴えて、最後には皇太子や首相にまで手紙を送り、遂に「特別許可証」まで得た。

あの不撓不屈の研究意欲が後のアメリカの第一代総長としてスカウト運動の発展に協力したこと等を思いおこすとき、深い感銘を覚えるのは私一人ではありませんまい。

どうか山口県連盟が、トムソン・シートンの心を心として静止することなく県内スカウト諸君とともに格段の精進を期待してやみません。

目 次

県 連 旗 (写真)

挨拶

20周年を記念して 山口県知事・連盟長 橋 本 正 之

創立20周年を迎えて 理 事 長 小 島 孝 惇

思 い 出

少年団思い出の記 山 口 市 光 尾 芳 人 1～3

思 い 出 山 口 県 先 達 中 丸 岩 吉 4～5

再発足当時に憶う 元県連事務局長 中 所 泰 6～9

ボーイ・スカウト運動再建当時を顧みて

元県連事務局長 森 基 教 10～16

ボーイスカウト山口県連盟規約…………… 19～26

ボーイスカウト山口県連盟昭和44年度役員…………… 29～30

ボーイスカウト山口県連盟昭和44年度登録団一覧表…………… 33～36

山口県スカウトの変遷史…………… 39～81

各種大会一覧表…………… 84～87

日連・県連業務一覧表…………… 91～93

各種指導者養成講習会一覧表…………… 96～98

ギルウェル、ウッドバッチコース修了者…………… 100

日連・県連各種褒彰受賞一覧表…………… 102～ 108

年度別登録状況一覧表…………… 111～ 116

あ と が き (ウラ表紙のウラに)

思 い 出

少年団思い出の記 山 口 市 光 尾 芳 人

思 い 出 山口県連先達 中 丸 岩 吉

再発足当時に憶う 元県連事務局長 中 所 泰

ボーイ・スカウト運動 元県連事務局長

再建当時を顧みて 森 基 教

少年団思い出の記

山口市 光 尾 芳 人

大正12年、齡29才の若さで、玖珂郡和木小学校長となった私は、学校教育と併行して、児童の校外生活指導の必要を痛感し、いろいろ計画をたてたものであった。

山口県に社会教育課が新設されてから、少年指導に踏み切り「少年団」という声が高くなりだしたのは昭和の初年であった。

たまたま、県社会教育課主催で少年団指導者の実修所が開設されたので、私は進んで参加した。

昭和4年8月のことである。場所は山口市古熊天神の境内、期間は一週間、講師兼実修所長は佐野常羽氏（当時の伯爵）で、英国で専門的に研修した少年団日本連盟直属の大家であり、権威者であった。

参加した者は約20名程度だったと記憶する。

講堂で講議を聴く講習ではなく、あの草原で栗鼠のようにはねまわり、小犬のようにとびまわる行動をとおしての実修が主であった。天幕等の設営はできなくて、夜間は分宿したのだったが、この講習会の教程は私にとって始めてのものであり、大きなそして愉快的、尊い、良き体験であった。私の一生の生活態度に特殊なひびきを与えたものと云えば、私はこの講習所生活と六週間現役とをあげるであろう。

私の校外生活指導の方針を固めようとした矢先の昭和5年、私は7年間の校長生活にピリオドを打ち、迎えられるままに県の社会教育課の人となり、県下の社会教育指導という重責を荷ったのである。

当時、社会教育の対象は青年団、女子青年団、婦人会が主であったが、私は少年団の開拓に努力したいと念願したものである。

少年団日本連盟も組織、機構が整い、中央実修所とならんで地方での直

當実修所を開設し始めた。

山口県の第二回中国実修所が設けられたのは昭和7年8月。場所は萩市田床山。実修所長は田門平八氏（下関）隊長は三上氏（他県の高等女学校教員）参加者は所長以下30名だった。私もいの一参加し、四コ班の中の梟班に所属して徹底的な実修を受け、古熊天神実修所以上の貴重な体験を積みかせてもらった。

田門所長は早く亡くなられたが、その時の本部員だった中丸岩吉氏は健在で、下関を中心に少年団活動に大きな力となっていると思う。山口在住者でこの実修所を修了したのは右田一男氏（ちまきや課長）がある。右田氏は当時白石小学校の先生だったが、早速山口少年団を結成し、団長八木千太郎氏と新しい教育に活躍の一步を踏み出したのである。山口市における少年団の創始者である、八木、右田両氏に対し、私は心からの敬意を表する。

萩田床山実修所を了えた直後、私は「これから少年団を本格的に育てよう」と決意を固くし、県社会教育の予算から事業まで計画を進めていた。

ところが、私は意外な壁にぶつかってしまった。それは少年団日本連盟の指導方式が、いわば有産階級者（服装その他の経費の点で）選抜者（身体、学力その他）を団員とするので、全社会人を相手とする県社会教育の方針とピッタリ合わぬものがあることであった。

一方、少年団日本連盟の少年団以外に帝国少年団協会（団長は当時陸軍大将鈴木孝雄氏で陸軍の長所をとり入れて指導）日本赤十字少年団（赤十字精神を中心としたもの）海洋少年団（海洋訓練を主とした）等が顔を出して来たので、県社会教育としてはどれにもつきあわねばならぬ苦境に立ち少年団日本連盟だけの提灯をもつことができなかった。二兎も三兎も追いまわすうちに日本はあの太平洋戦争に突入した。しかも、少年団日本

連盟は「舶来品で、わが国には適しない」と云うことで惜しくも姿を消すことになったのである。

私は県庁で地方事務官という肩書で、県民の戦時指導に没頭していた昭和18年、所望されて萩市に転出、終戦前後の4年を萩で過ごし、昭和21年、市長を辞して山口市で浪人生活をしていた時、県庁から呼び出しをうけた。相手は現在の橋本知事が教育部長の時である。談は少年団のことで「これから少年団指導をやりたいのだが最高指導者になってくれ」とのこと。

私は一応光栄を感じたが、私より以上の適任者があったのでそれを推せんした。戦前、台湾で少年団運動に活躍し、全国的に認められた田村保君である。田村君は私の知友であり、終戦後裸一貫で引き上げた男。私の持っていた少年団関係の一切（ユニホーム、帽、ネッカチーフ、貴重な記録からノートまで）を彼に譲った。彼も喜んで、戦後少年団育成に励んでいたが、身体を悪くして遂に亡くなった。

いま、私には少年団に関する限り、30年昔のなつかしい記憶と中国実修所の記念写真の外一物もない。が、いまから思えば、少年団精神は「よき開拓者」となることではないだろうか。この点アメリカの前大統領ケネディーのニューフロンティア精神に通ずるものがあると思われる。

何にしても戦後の社会に、特に青少年問題のやかましい今日、少年団活動をとおして、青少年達が良き習慣と体験を積みつつある姿は祝福せずにはおられないのである。

私の記憶に残っている言葉を並べて、この思い出の記の筆を擱こう。

思　い　出

山口県連先達　中　丸　岩　吉

山口県連盟創立20周年の記念を御祝いたします。県連が今日のように栄えたかげには、こんな話もあった。戦後我国で一番始めにマッカーサ司令部が団体活動を許したのはボーイスカウトである。その裏には、三代目総長竹下勇先生の力が大いにあった。総長は日本の将来をゆうりよされて、占領下とはいえ、正しいボーイスカウトならば、アメリカにもあるので彼等も必ずや判るから、我国も許可を得る様にと話されました。占領下における米軍の方針は終戦当時、総長の云われた如くであって着々と進められ、軍政部は動きを見せた。名提督の、(総長は元海軍大将)言われた通りに実現したのに驚いたのです。古い話だが日露戦争の時に海軍武官としてワシントンにおられ、時のルーズベルト大統領を動かして、日露戦争の調停に運び遂にポーツマス平和会議にまで持込んだ蔭の人だけに中々時局観はたしかであった。それだけ苦悩は大きかったとの事でした。

進駐軍当局より「従前の日本聯盟にぞくする純粹のボーイスカウト運動なれば再開は差支つかえない」旨の内意があり、そこで三島氏を中心としてスカウト運動が再開の途についたのである。その時誰れよりも悦ばれたのは竹下総長であった。昭和15年12月に少年団日本聯盟が発展的解消した時の理事長二荒伯は16年1月に当時実修所終了者及び隊長の有志をもって財団法人健志会を発足させた。戦後健志会々員はマッカーサ司令民間情報教育部の通報により、永い夜が明けた様に感じ、活気付き、そしてスカウト活動にいち早く立ち揚ったのであった。

我山口県では昭和22年7月18日付で当時、県教育部長橋本正之先生よりボーイスカウト運動協議会開催の通知があり、28日山口市科学博物館に於いて第1回の協議会が開かれた。その時の出席者は田村、中丸、宮本、

五島、森、中所外数名で、先ず県下に指導者を作ること、そのため10月に県庁裏法泉寺山に於て5日間講習会開催を決議した。講習会には主食持参のことで、集った者は米を持参した者は少なく、麦やメリケン粉であった中所所員は近くの農家より野菜を買集めて下さった。これでだんご汁を作り全員これを食して講習は無事に終了した。

山口県連盟も日本連盟に登録して20周年を迎えたこの喜び、そのかげに田村、安野両先生や指導者諸君の努力があり頭が下る。今後共に永く永く弥栄に県連盟の栄える事をお祈してお祝のこととします。

再発足当時に憶う

元県連事務局長 中 所 泰

本年は丁度戦後ボーイスカウト活動が再開されて満20年になると聞いて今更ながら年月の流れの早いのに驚く。

戦争酣わになってから終戦まで県の教育行政機関は教学課一課にまとめられていたが敗戦の年の12月学校教育課と社会教育課に分れ私は社会教育課の方に廻された。

長い戦争の末、敗戦というみじめな終結を遂げ何も彼も一切が御破算となった中から「矢張り何としても起上らねばならぬ、祖国の再建を図らねば」という気持で一ぱいであった学校教育活動と並んで青少年其他一般社会人を対象に教育的な組織活動を展開して行くのが私に与えられた任務であった。

あっちこちに青年団婦人会は勿論BS、GS或はJRC子供会等々、終戦直後は各地に演劇グループが多く出来特に県で演劇研究所を持つまでになった。教育後援会といった各学校の後援会組織を占領軍から「父母と先生の会」略し「PTA」と改編する様示唆されその普及にもつとめたものである。

青年団活動については占領軍が在郷軍人会や武徳会と類似の団体と誤解し解散させようとする動きが見えたことがある私は「こうした大衆の教養組織をつぶして仕舞ったらあんた方が考えている日本の民主化は出来なくなるぞ」と強く抗議した。私が言ったからだけでは勿論なかろうが「青年団を解散しろ」という事は言わなくなった。その点BS活動については占領軍が大変好意をもってくれ指導者さえも派遣してくれる程であった。

日時はよく記憶していないが現橋本知事が教育部長として内務省から赴任されて間もない頃「山口県下に現に在住している人で戦前ボーイスカウ

ト活動をしていた人を探し出せ」と命ぜられ市町村に調査依頼の結果（記憶力の悪い私が記録も何も手許にないなりで書くので実際御活躍いただいた方を洩したり或は誤記があってもどうぞ御勘弁願いたい）

岩国市田村保、小島孝淳。下関市中丸岩吉、隅田悟郎、落合重文。豊浦郡森基教。大島郡宮本正次。宇部市兼安哲丸。山口市中田清一、大津郡五嶋光蔵。

以上の方々について回答があり、そうした方々の集会を先づもった。占領下の貧しい県財政の中のことであったからこちらで召請しながら旅費日当といった事も余り差上げた記憶もないので多分手持手弁当の事が多かったのではないかと思うがよくお集りいただいて熱心に御協議願ったものである。

又山口市湯田の水野文雄先生に理事長に御就任願ってそのお宅を開放していただき会合をもつのは勿論風呂にも入れていただきあの物資の乏しい時會費なしの懇談会まで開いていただいた記憶もある。

こうした方々の大きな自己犠牲のおかげで何回かの講習会や訓練所の開設も順調に終え指導者養成も進み県下に十幾つかの隊も結成されたのでいよいよ正式に県連盟の結成となった様に思う。

当時教育委員会が発足していたが私は昭和25年4月末日付をもって県民生部に移り児童福祉を担当する様になって関係が断たれて仕舞ったが、とにかく私の担当時代は長い戦争で疲れ切った揚句の果、敗戦一占領といった時代で周囲は絶望困迷のどん底であった。「触らぬ神に祟りなし」下手な事をして占領軍ににらまれてもしたら大変な事になる」といった恐怖の時代であったから、ただBS、GS活動だけでなく青年団婦人会子供会等にしても勇を鼓し率先して創設に御活躍下さった方々の御苦勞は大変なものであった。

今でこそ青年団にしても婦人会にしてもBS、GS活動にしてもちゃんとした事務局も出来ているだろうが、私の関係していた時代はそうしたものが勿論あろう道理もなく、点を綴って線に線をつないで輪にまでするのがやつの事であった。そうして如何にして自分達の組織を自分達の手で作出す様になって貰うかが私の念願であった。創々の時代何もかも足らぬばかりの時代であったがみんな再建の同志として今でもなつかしい有難い思い出ばかりである。

前述した様に昭和25年4月末日付で私は児童福祉司となりついで児童相談所長を11年間つとめ現在は家庭不遇児を收容して逆境に巡り合せた児童等をいたわり励ましながら立上らせようとする施設に働く者として順境に生れエリートとして陽の当る場における大学生諸君のあゝした破壊活動をしている事が悲しくてならない。私はこの大学紛争が起るずっと前から思っていた事であるが現在子供会といっても小学生だけのものが多い。中学生になると勉強がいそがしいからといって退会して仕舞うBS、GSにしても仲々活動が活潑にならんのではないか、軌道に乗り兼ねるのは何故かこの広い山口県に30隊40隊あった程度ではほんとうのBS精神が県下に充満したとは言えないではないか。極言すれば今日の程度ではBS、GSの見本が県下にもあり日本にもあるといった程度ではないか。時たま特異な服装を見かける程度では。

これを阻んでいるものは中学生になったら勉強がいそがしい、学校から帰ったら一寝入りして夕方から起て朝の2時~3時まで頑張らんと有名高校に入れん。それに入れなかったら有名大学に進めない。と本人も親も社会も教師も認めているから社会奉仕なんかやっておれんのではないか、少年時代からがり勉一本で社会奉仕の体験も何も持たない。他人を押しつけても自分だけよい座につきたいとする頭でっかちの記憶の虫のようなもの

でないとエリートとして世の指導者として社会が迎えないといった社会の組織そのものに間違いがありはしないか、街頭に立ち時には駅の構内にも入り或は交通整理に或は清掃奉仕にといった多少でもそうした実践活動を小、中高校時代に体験していれば大学改革をするにしてももっと方法を選びそうなものである。

何としても悲しく寂しくなげかわしい現実である県下にボーイスカウトが何百隊と出来てほしいものである。

ボーイ・スカウト運動再建当時を顧みて

元県連事務局長 森 基 教

「光陰矢の如し」と申しますが、月日の立つのは早いもので、スカウト運動再建以来ここに20年。その間指導者諸先生のたゆまぬ御活躍で今日ますます隆盛になりましたことを衷心から御祝詞申し上げます。

昔を顧みて、いささか私見を述べさせていただきますことを光栄と存じます。

◎ 再建を願った動機。

古いスカウトでした。

戦時中南方教育要員として現地にいました。

紺べきの空遠く積乱雲が浮んでいた、ジャワで終戦を迎えました。

終戦直後はそれはそれは混乱の日々でした。その中で教育に携わる者たちは集って、いつも今後の日本の子どもたちの教育についていろいろと意見を述べあいました。

当時ジャカルタ女子高等師範学校長水島密之亮先生や州教育局長山田彌先生と毎日のように会談していましたが私はスカウト教育が一番よいと思って、これについて説明し大いに賛同を得て、帰国後はこれの実行を誓いました。

戦時中発展的解消の名のもとに翼賛青少年団に合併されてしまったスカウト運動。けれどこの運動こそは、少年諸君に対する生きた教育法であると思ったからです。その上たとえ戦いに敗れたといっても

(1)スカウト運動は全世界に普及されている。

占領軍といえども必ずこの運動は理解し、認めるだろう。

(2)スカウト教育法は、教育の三大要素である知・情・意の教育の実践を主体とするものである。

(3)この教育の創始者ペーデンパウエル卿は、正しい日本の教育法を多分に組入れておられるので、正しい日本精神を訓育するのは、この教育法によらねばならない。

と考え、再建はやりおおせると固く信じたからです。

異郷の地で抑留の身となり、苦しい生活でした。その苦しい生活の中に唯一つの光明がありました。それはボーイ・スカウトの再建の夢でした。この夢を描きながら幾度か死線を越え、苦しみに耐え、心は常に暖く、任務を遂行しました。業終えて戦に敗れたりとはいえ、なつかしいなつかしい祖国日本に復員しました。

◎ 再建はできた。

復員後1年。八城小学校に職を奉じ、ここでささやかながら一ヶ班のスカウトを得て、土曜の放課後や日曜日に教育をしました。学校をとりまく山の木の葉が紅く染める頃。上衣をズボンの中に入れ、風呂敷をチーフにした異様な姿の七名のこどもたちは、講義に、実技に興味を持って、頬をかがやかし子リスのようにキビキビと、楽しそうに立廻りました。これが終戦後おそらく県下でのスカウト再建の第一歩だったと思います。

このことが上司にしれたのか、ある日津森視学（現県会議員）と福本視学（現豊浦小学校長）が巡視を兼ね、スカウト教育を視に来られので張切って活動したものでした。

両視学は大いに感銘されたそうです。

昭和23年県社会教育課主催のボーイ・スカウト指導者講習会が開かれるということを新聞紙上で見た時心がおどりました。

早速申込みました。

第1回の指導者講習会は法泉寺道場でした。田村先生を所長に、中丸先生を隊長に、中田・宮本・隅田・五嶋・兼安・落合の諸先生に私も加えてい

ただき所員として、みな張切って実修にあたりました。受講生のみなさんも大変熱心でした。

大いに再建に効果があったようでした。

朝まだ真暗な中、二里の山坂道をリックを背負い、ある時は雷光目を射る雷雨にびしょ濡れになりながら唯喜びと希望に胸ふくらませて二見駅に出て通ったものでした。

本願寺主催の講習会・県主催下関一の宮の講習会等を経て、戦後始めて指導者実修所が山口県鑄銭司の長沢池畔で全国にさきがけて開かれました。日本聯盟から尾崎忠次先生が所長として来られ訓練されました。

期間中に、当時の日本聯盟理事長三島通陽先生・田中県知事・和田部長・湊上課長・占領軍からはオブラエン氏が来所視察せられました。入所者一同大いにハッスルしたものです。

この時面白いニュースがありました。

訓練中のある日、占領軍の将校の乗ったジープが2台砂煙を立てて実修所にきました。

「実は飛行機からの連絡で、日の丸の旗を掲げた場所で人の群が右往左往している。反乱軍らしい。

とのことで見に来たとわかり、所長始め所員班が応対し、ボーイ・スカウトの訓練中だと説明したところ

「オー・ボーイ・スカウトの訓練ですか。」と、いってすぐ納得し、訓練を視察して帰りました。

この時スカウト運動が如何に全世界に普及しているかどつくづく感じました。

これは別の話ですが、山口市にザビエルの塔ができ、除幕式があり、ローマ法王の特便がこられたことがありました。その折スカウトが交通整理

に応援出動しました。

特使がスカウトの前を通られるたびごとに、感謝の目札をされました。その時の特使のなごやかなまなざし、信仰を得た人だけの持つ平和愛好のまなざし、これがほんとうのスカウトに共通のまなざしだと思ったことが今もなお忘れられません。

次に、皇太子殿下が御来県になった時のことです。

この折も交通整理に出動しました。

学習院の制服を召した殿下が亀山公園にお成りになりました時、スカウト代表が記念品を献上いたしましたところ、じきじきにお受け取りになりました。

殿下もスカウト姿を御覧になったのははじめてであったのか、その夜田中知事にスカウトについていろいろ御下問があったそうです。

翌朝御車の出発直前警備についていた私に知事が、御下問にお答えする資料になるスカウトに関する何か本はないかといわれました。

警備中で本なんて持っていない。持ち合せの戦前の「健児手帳」をとっさにお渡ししたら大変喜ばれました。

ところがその「健児手帳」を貸すようにとのおことばでお持ち帰りになったそうです。

たび重なる実修で汗や垢によごれた「健児手帳」！ もったいなく思いました。

いつかこの手帳のことも忘れていましたが、一年程たったある日県の秘書課長から呼び出され、「皇太子殿下の侍従から小包がきている。」といって渡されました。

開いて見ると、あの時お持ち帰りになった、手帳とお礼としておそれおくも御紋章入の煙草一箱が入っていました。

私はこの光栄に涙しました。

其の後三丘・光・小野田・大島・嘉川等の講習会に参加させてもらい大いに勉強しました。

隊も次々に産れて、当時山口県は全国第一のボーイ・スカウト県になり、関係者一同心から喜びあったものでした。

諸先生のお力で再建は遂にできたのです。こんな喜びが又とあろうか。

日本の子どもたちの幸はこれからだどつくづく感じました。

◎ 願 い

スカウト教育はいまさら申すまでもなく、知・情・意の実践であり、殊に奉仕活動を重視します。

初代総長後藤新平先生の座右銘に

人のお世話にならぬよう

人のお世話をするように

そして報いを求めぬよう。

とありました。

この銘こそスカウトの進む道を示めされたものです。

スカウトは自然の中で教育されねばならぬと思います。

常に山林野を跋涉し、キャンプをする中に、自然を愛する心を養い、自らの体得による信仰心の芽生え、実修による生きた勉学、こうしたものを体で学びながら人間形成されていくことが大切だと思います。

知・情・意の三味が一体となる教育こそスカウト教育の特色であります。知のみに走り、他をかえりみず自分だけがという観念を持つことは恐いこと、そんな考えに走るとヘルメットをかぶり、角材を握るような者になるのだと思います。

そんなことでは平和は来ると思われません。真の平和日本を祈り、平和の

斥候となり得る者は、スカウト諸君であると確信します。

私は指導者諸先生の御苦勞に深く感謝するとともに今後の御活躍を祈り、一人でも多くのスカウトを得てこれを真のスカウトに養成され、名実ともに日本一のスカウト県になるようお願いし、御発展をお祈りいたします。日本の子どもたち、否全世界の子どもたちの幸を祈ります。

ボーイスカウト山口県連盟規約

ボーイスカウト山口県連盟規約

第1章 総則

名称及び事務局 第1条 本連盟は日本ボーイスカウト山口県連盟と称し事務局を事務局長の所在地に置く。

目的 第2条 本連盟は、ボーイスカウト日本連盟の規約に従い、青少年の自発活動により社会生活に有用な技能と態度を修得させ、国際愛と人道主義にもとづいた行動が実践できる心身ともに健全な青少年を育成することを目的とする。

事業 第3条 本連盟は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1、指導者の養成並びに資質の向上に関する事項。
- 2、各地区、各団の指導援助並びに連絡提携に関する事項。
- 3、ボーイスカウト運動の啓発に関する事項。
- 4、その他この運動達成のため必要な事項。

加盟登録 第4条 本連盟年次総会終了後直ちに、日本連盟の規定に従い次のものの登録をするものとする。

登録は、県連盟登録申請書2通を作成し、正本一通と所定の登録料を添え日本連盟事務局に提出する。

本連盟役員（名誉役員を除く）

事務局長

第2章 組織

組織 第5条 本連盟はボーイスカウト日本連盟に加盟登録されている県内の団をもって組織する。

地区 第6条 本連盟は理事会の決議に従い、連盟地域内の地理的条件、加盟団の状況、運動の発展状況及び社会形態を考慮して次の地区に区分する。

第1地区（岩国市、柳井市、玖珂郡、熊毛郡、大島郡）

第2地区（光市、下松市、徳山市、都濃郡）

第3地区（防府市、山口市、吉敷郡、佐波郡）

第4地区（宇部市、小野田市、厚狭郡）

第5地区（下関市、豊浦郡）

第6地区（長門市、美禰市、萩市、美禰郡、大津郡
阿武郡）

第3章 会 議

- 会 議 第7条 本連盟の会議は、総会、理事会、常任理事会、
名誉会議、コミッショナー会議、地区会議とする。
- 総会の開催と
招集 第8条 本連盟は毎年一回春季に年次総会を開催する。
また必要に応じ、理事会又は、3分の1以上の総
会議員の要求により臨時総会を開催する。
総会は連盟長が招集する。
- 総会の構成 第9条 総会は次に掲げる議員をもって構成する。
1、日本連盟の正式加盟団を代表するもの（団委員
より1人、指導者より1人）
2、県連盟役員
議長は議員中より選出する。
- 総会報告承認
事項 第10条 次の事項は年次総会に報告し、承認を受くるも
のとする。
1、年度内における本連盟内のスカウト運動の概況。
2、予算及び決算並びに会計経理の状況。
- 理事会の責務 第11条 理事会は県連盟の目的達成にあらゆる努力をす
るとともに重要事項を協議決定し、県連盟の維持、
業務の執行及び運営の責に任ずる。
- 常任理事会 第12条 正副理事長、県コミ、事務局長を以って構成し、
緊急事項について審議する。
- 理事会の構成 第13条 理事会は正副理事長及び理事を以って構成し理
事長これを招集する、事務局長、県コミ、副コミ
はこれに参加し発言することができるが議決に加
わらない。
- 名誉会議 第14条 名誉会議は、県コミ、副コミ、名誉会議員、事
務局長を以って構成し、必要の都度、県コミが招
集し本連盟の名を以ってする表彰、感謝状等を司
る。
但し、事務局長は議決の数に加わらない。

コミッショナー 第15条 県コミ、副コミ、地区コミ、事務局長を以って
会議

構成し、県コミの招集により、連盟地区内のスカウト運動の基準を維持し、その純正な発達を図るための具体的活動を審議する。

地区会議 第16条 地区会議は次の目的を達成するための業務を審議執行する。

- 1、各団の独立と、主導性をさまたげることなしにその地域のこの運動を保護し、隆盛ならしめる。
- 2、各団相互間及び地区内の、同じ目的を有する他の団体との調和的協同を保つこと。
- 3、県連の各種会議の採用した方針及びプログラムを地区内に効果的に実施せしめ、かつ地区の状況及び希望を県連盟に伝達反映すること。
- 4、県連年次総会以前に地区会議を開催し、改選期にある地区役員を選出する。

会議の定足数 第17条 本連盟の諸会議は構成員の過半数をもって定足数とし、その議決は特別の場合の外、出席者の多数決による。

第4章 各種委員会

運営委員会 第18条 理事会は、その下部機構として次の運営委員会を設ける。

- (1) 財政
- (2) 組織拡張
- (3) 指導者養成
- (4) 野営行事
- (5) 進歩
- (6) 健康安全

各種委員会は、当該委員長の下に理事会の議を経て委嘱された委員を以って構成する。

特別委員会 第19条 特別委員会は理事会より委任された任務を行うため特定部門につき、必要の都度、臨時に設置する、その任務及び期間は、設置の都度、理事会より指示する。

委員長 第20条 各運営委員会及び特別委員会の委員長は理事会がこれを委嘱する。

各委員長は、当該委員会を主宰する。

委員 第21条 各種委員会の委員は、当該委員長と事務局長と

合議の上理事会の承認を得て、理事長がこれを委嘱する。

運営委員の任期 第22条 運営委員会の委員長及び委員の任期は2年とし、重任を妨げない。

議決の効力 第23条 各種委員会の議決は、その決定の権限を理事会より委任された場合を除き、すべて理事会の承認を得てその効力を発生する。

第5章 役員

役員の種類及び人数 第24条 本連盟の役員は次のとおりである。

- | | |
|--------------|-------|
| 1、連盟長 | 1名 |
| 2、副連盟長 | 1～2名 |
| 3、理事長 | 1名 |
| 4、副理事長 | 1～3名 |
| 5、理事（イ）地区理事 | 各地区1名 |
| （ロ）指名理事 | 若干名 |
| 6、県コミッショナー | 1名 |
| 7、県副コミッショナー | 若干名 |
| 8、地区コミッショナー | 各地区1名 |
| 9、地区副コミッショナー | 各地区1名 |
| 10、名誉会議員 | 3～5名 |
| 11、監事 | 2名 |
| 12、名誉役員 | 若干名 |

連盟長 第25条 連盟長は理事会の推薦により総会において推薦する。

連盟長は本連盟を代表する。

連盟長の任期は2年とし再任を妨げない。

副連盟長 第26条 副連盟長は理事会の推薦により総会において推薦する。

副連盟長は連盟長を補佐し、その事故あるとき又は欠員のとき、これを代行する。

任期は2年とし、再任を妨げない。

理事長 第27条 理事長は理事の互選により就任する。

理事長は理事会の議長となり、本連盟を統轄す

る任期は2年とし、再任を妨げない。

副理事長 第28条 副理事長は理事会の互選により就任する。

副理事長は理事長を補佐し、その事故あるとき又は欠員のときこれを代理する。

任期は2年とし、再任を妨げない。

地区理事 第29条 地区理事は、地区会議により選出され、本連盟の総会において確認される。

その任期は2年とし再任を妨げない。

地区理事は当該地区を代表し、本連盟本部の運営に参画するとともに、地区の意向を理事会に反映せしめ、又理事会の方針及び決定事項を地区に報告するものとする。

隊長及び副長は止むを得ざる場合の外、地区理事に就任しないことが望ましい。

指名理事 第30条 連盟長が委嘱する理事は、連盟長、理事長、県コミが合議の上、地区を代表する理事に諮問したる後総会の承認を経て就任を確定する。その任期は2年とする、但し再任を妨げない。

県コミッション一及び任務 第31条 県コミッショナーは連盟長が理事会の議を経て日本連盟本部に申請し、総長がこれを委嘱する。

任期は就任の日の後、3回目の12月31日までとし、その任期において引続き2年ずつ更新することができる。

県コミッショナーの任務は日本連盟及び県連盟の方針とその規約に従い連盟地域内のスカウト運動の基準を維持し、その純正な発展を図ることである。

なお、特に次の任務を有する。

- 1、県連盟の名誉会議を主宰する。
- 2、地区コミッショナーを監査指導する。
- 3、ある地区において、地区コミッショナーの空白の場合この任務を代行する。
- 4、県連盟内の指導者の資質の向上を図る。

- 5、制服及び記章の正しい着用について監査指導を行う。
- 6、県連盟地域内の加盟員間の論争を調停する。
- 7、県連盟の教育、指導面の中心指導者として、この部面で県連盟を代表するとともに、この意味の代表として日連総会議員となる。
- 8、連盟長及び理事長の相談相手となり、理事会に出席してその議定を助ける。
- 9、事務局長を援助し、業務執行が健全に遂行せられるようにする。
- 10、県連盟地域内の目的を等しくする他の団体と協力し、良き関係の維持を図る。

県副コミッシ ョ 第32条 県副コミッシ ョナーは県コミッシ ョナーの推薦
 ナー により、理事会の議を経て、連盟長がこれを委嘱する任期は2年とし、再任を妨げない。副コミッシ ョナーは、県コミッシ ョナーの任務を全般的に補佐し、また特に与えられた任務を履行する。

地区コミッシ ョ 第33条 地区コミッシ ョナーは県コミッシ ョナー と地区
 ナー 理事両者の推せんにより、理事会の議を経て、これを委嘱する。その任期は2年とし、再任を妨げない。

地区副コミッシ ョ 第34条 地区副コミッシ ョナーは地区の推薦により連盟
 ョナー 長が委嘱する。地区副コミッシ ョナーは、地区コミッシ ョナーを補佐し、地区コミッシ ョナー不在のときは、その任務を代行する。その任期は2年とし、再任を妨げない。

名 誉 会 議 員 第35条 名誉会議員は総会において選出し、連盟長が委嘱する。その任期は2年とし再任を妨げない。
 議員は名誉会議に出席し、同会議すべての任務を履行する。

監 事 第36条 監事は年次総会において選出する。任期は2年とし再任を妨げないが他の役員を兼ねることはできない、監事は本連盟の資金及び経理を監査する。

名 誉 役 員 第37条 理事会の議を経て、次のような名誉役員を置くことができる。

(1) 顧問、相談役

本連盟の発展に関心をもち、業務執行に関し、役員の諮問に応ずるものとして置く、これらは本連盟の運営経費として1口2,000円以上の支援を行う。

(2) 先達、長老

本連盟の教育指導面に多年貢献された者に対し先達、長老の称号を贈る。

役員 欠員補充 第38条 役員 役員の辞任又は、亡によって欠員を生じた場合は地区理事についてはその地区会議において1カ月以内に補充し、理事会の承認を求める、但し他の役員については理事会が必要と認めた場合に補充する。

役員 の 報 酬 第39条 役員はすべて無給とする。

第6章 事 務 局

事 務 局 第39条 本連盟の業務執行機関として事務局を設ける、事務局の業務執行はすべて理事会の議定の下に行われる。事務局には事務局長及び事務局次長の外業務に従事する職員を置くことができる。

事務局 長 及び 次 長 第40条 事務局 長 及び 事務局 次 長 は 理 事 会 が 任 免 す る、事務局 長 の 任 務 は 次 の 通 り で あ る。事務局 次 長 は 事務局 長 を 助 け、事務局 長 事 故 あ る と き は、その 任 務 を 代 行 す る。

- 1、日本連盟及び本連盟のすべての規約及び方針を遵守し、理事会の議定の下に、本連盟の事務を執行する。
- 2、理事会その他の幹事役として、その議定を助け本連盟の書記役となる。
- 3、事務局の長として事務局の運営管理の責に任ずるとともに理事長の承認を経て職員の任免及び監督指導を行う。

- 4、各コミッショナーと協働し、日本連盟規約中、記章標章及び服装に関し、規定された事項を厳守せしめ、無資格者に着用せしめないよう留意する。
- 5、年次総会及び日連本部に本連盟の行った年間行事状況を報告する。
- 6、事務局長及び次長は理事会の議を経て有給とすることができる。
- 7、事務局長は需品部を監督指導する。

第7章 経 理

資 金 第41条 本連盟の経費は日本連盟並びに本連盟の定める登録料及び補助金、その他の収入を以ってあてる、但し本連盟の定める登録料は総会の承認を経てこれを決定する。

資 金 の 管 理 第42条 本連盟の資金及び経理は理事会の指示に従い維持され、かつ整理されなければならない。

会計年度と決算 第43条 県連盟の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。その決算は監事の監査を受け、県連年次総会に報告し、その承認を受けなければならない。

第8章 表 彰

表 彰 第44条 本連盟の加盟員にして下記に該当するものがあるときは地区会議の申請又は名誉会議の発議により、名誉会議がこれを審議し表彰する。

表 彰 の 種 類 第45条 本連盟の名をもって授与又は贈呈するものは次のとおりである。

1、県連有功章

本連盟役員その他にして多年にわたり奉仕した者又は特に功績のあった者に贈呈する。

2、県連感謝章

本連盟又はスカウト運動に対し尽力した者に贈呈する。

3、感 謝 状

地区又は団の運営に尽力し、特に感謝の意を表

ボーイスカウト山口県連盟規約

昭和44年度役員

ボーイスカウト山口県連盟 昭和44年度役員名簿

S 45. 1

役 名	氏 名	職 業	住 所
連 盟 長	橋 本 正 之	県 知 事	山口市滝町 県庁
副 連盟長	末 山 正 顕	副 社 長	宇部市西区 宇部興産KK
〃	熊 野 一	教 育 長	山口市滝町 県教育庁
理 事 長	小 島 孝 惇	校 長	岩国市岩国1-13-12
副 理 事 長	岡 寺 正 夫	社 長	徳山市月丘町3-10
〃	原 川 康	会 社 員	宇部市西区宇部興産KK
〃	永 松 省 治	商 業	下松市元町東
指 名 理 事	村 瀬 和 徳	社 教 課 長	山口市滝町 県教育庁
〃	河 野 章 二	無 職	徳山市若草町3-33
〃	中 丸 岩 吉	商 業	下関市竹崎町5
〃	大久保 英 夫	無 職	山口市中央5-3-5
第1地区理事	川 添 常 一	医 師	熊毛郡田布施町一本松
2	永 松 省 治	商 業	下松市東元町
3	長 富 春 一	会 社 員	小郡町明治東
4	桜 井 孝	大 学 教 授	宇部市東区野原
5	阿 山 勇 祐	教 師	下関市向洋町3
6	西 林 直 輝	商 業	萩市古萩16
県 コミ	太 田 耕 作	公 務 員	防府市自力町5-21
県 副 コミ	横 山 貞 次	会 社 員	美禰市大嶺山陽無煙鋳業所
〃	亀 山 俊 雄	教 員	山口市滝町3-15
〃	古 田 弘	教 員	長門市西深川板持1区
監 事	河 野 一 雄	教 師	徳山市本町1-22
〃	森 重 利 雄	農 業	小郡町蔵敷
名 誉 会 議 員	中 丸 岩 吉		
〃	河 野 章 二		
〃	五 嶋 光 蔵	教 員	長門市仙崎鍛冶屋町
〃	山 根 勝	商 業	防府市仁井令小徳田
〃	石 津 勝 治	教 員	豊浦郡菊川町岡枝

役名	氏名	職業	住所
財政委員長	小島孝惇		
組織拡張委員長	永松省治		
指導者養成委員長	古田弘		
野営行事委員長	原川康		
進歩委員長	亀山俊雄		
健康安全委員長	横山貞次		
年少部対策委員長	横山貞次		
第1地区 コミ	桑原法道	教頭	柳井市片野
〃 副コミ	賀屋文三	教員	岩国市岩国室の木町2丁目
第2地区 コミ	松田一郎	教員	徳山市岐陽中学校
〃 副コミ	福本康人	会社員	徳山市月丘町岡寺産業KK内
第3地区 コミ	引頭義男	公務員	小郡町津市南
〃 副コミ	三坂玉良	技師	防府市高井大日
第4地区 コミ	加藤博之	会社員	宇部市東区梶返天神うら
〃 副コミ	欠員		
第5地区 コミ	武内正一	教頭	下関市本町4-14-24
〃 副コミ	満長明德	教員	下関市みもすそ川4-17
第6地区 コミ	宮本雅通	公務員	萩市江向萩市中央公民館内
〃 副コミ	田村雅利	公務員	阿武郡須佐町須佐
事務局長	永久鉄哉	公務員	山口市古熊184-5

ボーイスカウト山口県連盟

昭和44年度登録団一覧表

ボーイスカウト山口県連盟昭和44年度登録団一覧表

S 45・1

地区	団号	初期登録年月日	団委員長名	団員数	隊長名
1 地 区	岩国1 B	24, 5, 27	上 林 正 幸	1 1	棟 近 隆 小 島 孝 惇 白 本 博 彬
	C	33, 3, 23			
	S	38, 4, 1			
	岩国2 B	25, 2, 21	八百屋 常三郎	5	賀 屋 文 三
	岩国3 B	40, 10, 25	秋 元 春 男	1 1	岸 村 正 和
	柳井1 B	24, 5, 26	中 岡 豊	3	児 玉 洋
	柳井2 B	40, 9, 13	青 木 高 治	4	矢 尻 豊 徳
	柳井3 B	44, 4, 1	菅 原 彦 之	5	桑 原 法 道
	和木1 B	37, 4, 1	有 田 亮	6	谷 本 光 令
	大島1 B	42, 4, 1	重 広 進	5	田 中 光 亟
田布施1 B	38, 4, 1	中 村 太 郎	8	山 田 康 一 人	
C-1	43, 4, 1			村 田 要	
C-2	〃 〃 〃			坪 倉 強 一	
2 地 区	光 1 B	24, 10, 23	河 田 新	5	岡 村 晃 治
	下松1 B	26, 3, 1	大 木 武 尾	3	永 松 省 治
	徳山1 B	25, 7, 18	安 達 栄	4	松 田 一 郎
	徳山4 B	29, 4, 1	藤 本 秀 雄	6	岡 寺 正 夫
	徳山6 B	38, 4, 1	角 為 一	4	坪 井 靖 治
	鹿野1 B	41, 11, 1	青 木 順 一	1 2	有 熊 正 信
3 地 区	防府1 B	26, 3, 1	久 和 勤 治郎	5	太 田 耕 作
	防府2 B	38, 4, 1	田 中 宏 二	8	三 坂 玉 良
	防府3 B	38, 4, 1	三 浦 明	3	池 永 勝 彦
	防府4 B	40, 4, 1	島 田 明	8	山 田 義 昭
	防府5 B	41, 4, 1	神 徳 達 也	5	マヌエルギリエン
	C	41, 5, 6			安 村 康 子
	山口1 B	24, 1, 6	永 井 栄	5	佐 内 昭 雄
	山口2 B	35, 3, 1	永 久 鉄 哉	7	寺 田 吉 雄
	S	39, 4, 1			永 久 哲 也
	山口3 B	36, 11, 20	福 田 速 雄	3	亀 山 俊 雄
	山口4 B	37, 7, 20	小田村 久	6	宇 野 和 利
山口5 B	44, 4, 1	アルトウロチリノ	1 1	瀬 川 憲 昭	

L 数	S 数	郵便番号	連絡先
8	39	741	岩国市岩国1丁目13-12 小島孝悖方
11	30		〃
1	17		〃
4	20	741	岩国市室木町2丁目5-10 賀屋文三方
5	47	740	岩国市通津 通津公民館内
3	21	742	柳井市和田 柳井中学校内
5	18	742	柳井市下馬皿 若葉保育園内
4	21	741	柳井市片野 桑原法道方
2	36	740	玖珂郡和木村 和木公民館内
2	25	749-01	〃 大島村 田中亟一方
7	65	742-15	熊毛郡田布施町 田布施公民館内
9	29		〃
7	16		〃
5	20	743	光市正門町8 光市教育委員会内
7	27	744	下松市元町東 永松省治方
2	21	745	徳山市一番町 岐陽中学校内
5	33	745	徳山市月丘町3-10 岡寺正夫方
3	30	745	徳山市遠石 遠石小学校内
5	34	745-03	都濃郡鹿野町 教育委員会内
6	36	747	防府市自力町S-21 太田耕作方
6	26	747	防府市佐野若宮 重川恭年方
1	17	747	防府市宮市開出2班 池永勝彦方
1	33	747	防府市三田尻3-1-22 山田義昭方
4	21	747	防府市八王寺 カトリック教会内
4	13		〃
1	34	753	山口市中央1-1 山口市役所
2	30	753	山口市古熊184-5 永久鉄哉方
2	27		〃
1	25	753	山口市滝町3-16 亀山俊雄方
1	20	753	山口市中央1-1 市役所宇野和利方
4	15	753	山口市亀山町 カトリック教会内

地区	団 号	初期登録 年 月 日	団 委 員 長 名	団委 員数	隊 長 名
3 地 区	小郡1 B	33, 4, 1	森 重 利 雄	1 1	引 頭 義 男 岡 本 惠 達 西 村 讓 治
	C	40, 4, 1			
	秋穂1 B	35, 10, 4	藤 生 仕 郎	2	
4 地 区	宇部7 B	26, 3, 1			佐 伯 正 純 高 橋 功 徳 繁 雅 茨 木 通 村 重 晃 堀 珠 代 初 義
	宇部11 B	30, 7, 1	佐 伯 正 道	8	
	宇部13 B	33, 11, 10	木 落 満	6	
	宇部14 B	34, 7, 6	村 田 隆 介	5	
	宇部15 B	38, 4, 1	桜 井 孝	6	
	C	41, 4, 1			
	山陽1 B	45, 1, 1	角 清 隆	7	
5 地 区	下関1 B	25, 3, 22	丸 山 守	8	満 長 明 徳 安 田 秋 夫 片 山 恒 己 ジョン・オマーリ 友 川 昭 夫 藤 井 英 夫 野 崎 智 愛 吉 武 勇 司
	下関2 B	30, 4, 1	吉 武 邦 敏	7	
	下関3 B	41, 7, 30	川 口 勝次廊	3	
	下関8 B	44, 4, 1	片 山 治 之	5	
	下関10 B	44, 8, 15	田 村 美 男	3	
	下関11 B	26, 7, 25	小松崎 鎮 男	5	
	下関13 B	42, 4, 1	池 知 民 雄	9	
	C	44, 4, 1			
6 地 区	美禰1 B	24, 6, 21	沖 永 博	6	野 川 忠 信 鈴 木 正 芳 山 田 繁 一 大 室 裕 治 宮 本 雅 通 松 本 誠 人 三 上 淳 信 津 村 和 彦 後 藤 泰 昭 松 浦 静 信 工 藤 岩 信 池 信 宏 証
	B ₃	39, 4, 1			
	C	40, 4, 1			
	美禰2 B	35, 12, 25	茶 川 二 郎	1 2	
	萩 3 B	31, 11, 18	木 津 友 一	1 0	
	S	35, 4, 30			
	萩 4 B	31, 11, 28	西 林 直 輝	5	
	萩 5 B	31, 11, 27	松 尾 尚 之	1 0	
	萩 6 C	43, 8, 28	柴 雪 嶺	5	
	長門1 B	30, 4, 1,	藤 田 辰 治	8	
	須佐1 B	38, 6, 10	小 田 正 満	3	
三隅1 B	44, 4, 1	松 野 利 久	8		
	計			305	

L 数	S 数	郵便番号	連絡先
3	35	754	小郡町津市上 小郡公民館内
9	38		〃
6	35	754-11	秋穂町東 秋穂町役場内
6	11	755-01	宇部市西岐波区西岐波公民館内
7	34	655 7	宇部市松島町8-21 佐伯正道方
5	18	755	宇部市小串 宇部窒素工場内
2	32	755	宇部市西区 宇部興産KK内
2	10	755	宇部市琴芝町カトリック教会内
1	13	757-01	厚狭郡山陽町埴生公民館内
8	25	751	下関市みもすそ川 満長明德方
3	13	750	下関市上新地 文洋中学校内
3	23	750	下関市彦島中学校内
4	24	750	下関市細江町カトリック教会内
2	14	750-11	下関市清末 東部中学校内
2	13	752	下関市長府小松田小松崎鎮男方
3	27	752	下関市長府町中の町 正円寺内
2	15		〃
4	27	759-22	美禰市大嶺町 山陽無煙鋳業所内
4	18		〃
9	28		〃
2	26	759-21	美禰市伊佐町本町伊佐公民館内
4	20	758	萩市江向 萩市中央公民館内
2	8		〃
5	24	758	萩市熊谷町 西生寺内
6	38	758	萩市堀内一区 津村和彦方
8	22	758	萩市平安古東区 後藤泰昭方
3	22	759-41	長門市仙崎1807 松浦静信方
6	22	759-34	阿武郡須佐町 須佐公民館内
1	27	759-38	大津郡三隅町野波瀬極楽寺方
249	1756		

※ 団数 49 団

山口県スカウトの変遷史

山口県スカウトの変遷史

昭和元年 1926	昭和2年 1927
<p>○ 中央地方訓練所 受講者 柏村 克二</p> <p>○ 九州地方訓練所 受講者 下田 圭介、阪本 新 (王司小教諭)</p> <p>○ 大正15年2月現在少年団団長数 (少年団研究による) 全国 435人 山口関係 5人</p> <p>○ 長府少年義勇団</p>	<p>○ 竹崎少年義勇団 下関市竹崎町に、大正12年11月10日、団員約300名で発足、これも、大正15年には全く活動しなくなった。 昭和2年5月、地元青年団が立ち上り、5月1日発団式を関西尋常高等小学校挙行8月1日より開催の福岡県連主催の第1回指導者講習会に、中丸 岩 吉団長が参加。 このとき、今までの訓練法を廃してボーイスカウト教育方法に切りかえたのがボーイスカウト団の最初のように思われる。</p> <p>○ 福岡県連。第1回指導者講習会 8月26日～30日 福岡市姪ノ浜 講師 福島 四郎少佐 吉川 哲雄 氏</p> <p>○ 竹崎少年義勇団 (中丸 岩 吉) ○ 園田町少年団 (田門 平八) ○ 貴船町少年団 (筒井 禎一)</p>

昭和 3 年 1928	昭和 4 年 1929
<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3回中央実修所 5月5日～12日 長崎県本彼杵郡松原村 野上道場 所長 佐野 常羽 隊長 古田 誠一郎 参加者 中丸 岩吉 田門 平八 ○ 山口県指導者講習会 8月1日～5日 山口市古熊天神 講師 佐野 常羽 古田 誠一郎 ○ 福岡県連合同野営 8月1日～2日 久留米練兵場 竹崎少年義勇団より10名参加 ○ 日本連盟、九州大会 8月 大分県玖珠郡飯田村、日本連盟九州野営場 野営長 久留島 武彦 竹崎少年義勇団より6名参加 ○ 第5期中央実修所 10月7日～14日 宮島青海道場 所長 佐野 常羽 隊長 古田誠一郎 参加者 田門 平八 中丸 岩吉 ○ 県別団勢調査 (少年団研究による) 全国 加盟団 535 申告団数 348 未申告団数 183 山口 加盟団 5 申告団数 3 未申告団数 2 ○ 竹崎少年義勇団 ○ 園田町少年団 ○ 貴船町少年団 ○ 王司少年団 (八木 哲雄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国実修所 7月22日～28日 秋吉台、長者ガ森道場 所長 中野 忠八 隊長 田門 平八 所員 中丸 岩吉 奉仕隊 園田町少年団 受講者 光野経男(和木) 稲田 進(西市) 重村作正(下関) 宮崎 潔(下関) 河村雄一(山口) 吉屋忠夫(伊佐) 中野五郎(下関) ○ 福岡県連合同野営 8月1日～2日 福岡県田川郡金田町 竹崎少年義勇団より15名参加 ○ 九州地方合同野営 8月5日～11日 飯田高原 下関商業より4名部外参加する。 ○ 米国サケラメント第25隊来岩国 山口県出身関係 田中 肇(岩国) 石丸登喜夫(徳山) 田中 正(岩国) 山形 泰雄(熊毛) 松井安次(大島) ○ 少年団文部省諮案委員に任命 日本聯盟評議員選任さる 田門 平八(下関) ○ 中央実修所理論教程 (少年部第3期) 修了者 中丸 岩吉(下関) ○ 和木村少年義勇団 ○ 竹崎少年義勇団 ○ 園田町少年団 ○ 王司少年団 ○ 長府義勇少年団

昭和 5 年 1930

○ 中央実修所 (幼年部第3期)

10月1日～7日

巖 島 道 場

所長 佐野 常羽 隊長 田門 平八

所員 古谷誠一郎 三上 留吉

中丸 岩吉

受講者 二荒 芳徳 田門 文平(下関)

○ 中央実修所 (少年部第7期)

10月5日～13日

巖 島 道 場

所長 佐野 常羽

受講者 八木 哲雄

○ 中央実修所 (2種少年団教程)

8月6日～12日

鳥取県。伯耆大山道場

所長 佐野 常羽 隊長 田門 平八

所員 吉川 哲雄 三上 留吉

中丸 岩吉 古田誠一郎

○ 福岡県連合同野営

8月1日～2日

福岡県。西公園内

竹崎少年義勇団より3名参加

○ 下関市合同野営

8月5日～6日

小月町。茶屋ヶ丘

参加団 王司少年団・長府少年団

園田町少年団・竹崎少年義勇団

○ 岡山御親閲補助奉仕団

11月19日

委員 田門 平八 奉仕 中丸 岩吉

参加 西島賢太郎・河村 長年・長井豊

浜村 明二・河野 一雄・河野 章二

○ 竹崎少年義勇団

○ 園田町少年団

○ 王司少年団

○ 長府少年団 (原田 一二)

昭和6年 1931	昭和7年 1932
<p>○ 中国地方実修所 7月25日～8月1日 室ヶ浜 所長 田門平八 隊長 伊藤為道 所員 三上留吉・中丸岩吉</p> <p>受講者 河野一雄(徳山)・河村 信(下関) 右田一夫(山口)・徳光正亮 河野章二(徳山)・田中孝市 小野守行・多記三三雄・大岡卓二 宮崎 潔(下関)</p> <p>○ 福岡県連合同野営 8月1日～3日 門司市清滝公園 竹崎少年義勇団より25名参加 園田少年団より23名参加</p> <p>○ 竹崎少年義勇団 ○ 長府少年義勇団 ○ 金光教徳山健児団 (河野 一雄) ○ 山口市白石少年団 (八木千太郎) ○ 園田少年団 (田門平八)</p>	<p>○ 少年団中国実修所 8月11日～17日 萩市田所山 所長 田門平八 隊長 三上留吉 所員 中丸岩吉・宮崎 潔</p> <p>受講者 田辺義雄・河野正人・須子素秀 今元鷹利・藤井幸雄・光尾芳人 吉田一治・梅田 章・岩村哲次 大田楽時・安野勝善・坂田徳蔵 松村晴夫・田中一郎・右田一夫 小幡邦哉・長嶺文雄・久保美彦 宇田川重雄・長井豊・大末鬼一 下岡博市・村竹 明</p> <p>○ 少年団日本連盟九州地方実修所 8月 福岡市外宇美町 障子岳道場 所長 田門平八 隊長 菅原 伝(東京) 所員 中丸岩吉 受講者 23名</p> <p>○ 四国地方実修所 8月1日～7日 愛媛県西宇和郡金山大和村 出石道場 所長 田門平八 隊長 寺岡 一義 所員 中丸岩吉</p> <p>○ 皇恩紐伝達 竹崎、園田、貴船、桜山各少年団</p> <p>○ 竹崎少年義勇団 ○ 園田町少年団 ○ 長府少年団(宮崎 潔) (田門平八) ○ 厚狭少年団(坂田徳蔵) ○ 豊浦郡王司少年団(下田博市)</p>

昭和 8 年 1933

○ 下関市敬神少年団 (前田和一)

○ 外浜少年健児団 ○ 桜山少年健児団

○ 貴船町少年団 ○ 奈古少年義勇団

○ 金光徳山健児団 ○ 王司村少年団

○ 九州地方実修所

8月1日～7日

宮崎県西諸県郡高原村 狭野道場

所長 田門 平八 隊長 芦谷 泰造

所員 中丸 岩吉・伊藤 為道

実修生 51名 西村 正人 (下関)

○ 四国地方実修所

8月11日～17日

愛媛県宇和郡旭村 成川道場

所長 田門 平八 隊長 菅原 伝

所員 中丸 岩吉

実修者 23名

○ 日本聯盟評議員選任さる

田門 平八・中丸 岩吉

○ 満州童子団来日

11月22日 午前7時下関着

○ 9月下関市聯合少年団結成せらる。

○ 昭和8年12月末加盟団員数

全国 健児数 77,494 海洋健児 2,128

団員数 79,622

山口 健児数 731 海洋健児 0

団員数 731

○ 団長変更 (登録番号 596)

王司村少年団 (下岡 傳市)

○ 外浜少年健児団 (安野 勝善)

○ 桜山少年健児団 (西村 正人)

○ 園田町少年団

昭和 9 年 1934	昭和 10 年 1935
<p>○ 中国地方実修所 8月19日～25日 下関市道森山園田町 壇の浦道場 所長 田門平八・岡本礼一 所員 中丸岩吉・渡辺 昭 受講者 金田寅三・増野 保・福田 新 隅田悟朗・亀田宗三・木村 猛 石津文雄</p> <p>○ 下関連合少年団合同野営 7月27日～29日 綾羅木海岸 夏の村 参加団 長府・王司・園田・貴船・桜山 外浜・竹崎少年義勇団・竹崎敬 神団</p> <p>○ 日本連盟野営全国大会 東京府下東村山久米川 竹崎少年義勇団より10名参加</p> <p>○ 第2回下関連合夏の村 8月24日～27日</p> <p>○ 昭和9年4月1日現在市町村団数 (少年団研究より) 全国 956 山口 11</p> <p>○ 長府少年義勇団 ○ 王司少年団 (宮崎 潔) (下岡傳市)</p> <p>○ 園田町少年団 ○ 貴船町少年団 ○ 桜山少年団 (高野弥一) (西村正人) ○ 外浜少年団 ○ 竹崎少年義勇団 (井竹 明)</p>	<p>○ 九州地方指導者実修所 7月22日～28日 大阿蘇道場 所長 田門平八 隊長 三上留吉 所員 中丸岩吉 実修者 51名 犬班 中田清一 ツバメ班 岡崎 仙慶 タカ班 大在達浮 虎班 林 清 虎班 藤野 健一</p> <p>○ 全日本少年団大野営 8月2日～6日 東京府下東村山村久米川 主催 大日本少年団連盟 参加者 24府県・180団・3400人 山口県からは 園田町少年団・引卒 田門平八 隊員9名 竹崎少年義勇団 ♪ 中丸岩吉10名 桜山少年健児団 ♪ 酒井庄吉郎4名 単独 松村晴夫 参加団中、スカウト名の見えるもの 那須野ボーイスカウト 明大スカウト 武蔵義塾ボーイスカウト</p> <p>○ 満州国童子団来関 4月2日午前7時 とうすりい丸、到着 4月20日午前10時30分 離関</p> <p>○ 日本聯盟評議員会 6月1日</p>

<p>明治神宮外苑日本青年館 田門平八・中丸岩吉参加する。</p> <p>○ 単独健児聯盟登録 松村 晴夫 (登録番号 単51)</p> <p>○ 昭和10年当時指導者実修所修了者名簿 (少年団研究第12巻第5号より)</p> <p>山口県関係 (教育事務所別)</p> <p>豊浦地区 (31名)</p> <p>亀田 宗三・増野 保・安野 勝善 田門 平八・中丸 岩吉・坂本 新 中野 五郎・宮崎 潔・田門 文平 河村 信治・山井 清水・稲田 元 田辺 義雄・梅田 章・藤井 幸雄 長井 豊・大米 覚一・田中 一郎 村竹 明・下岡 博市・吉田 一治 久保 美美・八木 哲雄・重村 作正 下田 圭介・金田 寅二・木村 猛 隅田 五郎・石津 文雄・福田 新 松村 晴夫</p> <p>厚狹地区 (4名)</p> <p>小野 守行・多記三三雄・坂田 徳茂 須子 素秀</p> <p>吉敷地区 (4名)</p> <p>徳光 正亮・右田 一夫・柏村 真二 光尾 芳人</p> <p>都濃地区 (2名)</p> <p>河野 一雄・河野 章二</p> <p>熊毛地区 (1名)</p> <p>大田 楽時</p>	<p>玖珂地区 (1名)</p> <p>林 敏夫</p> <p>大島地区 (2名)</p> <p>田中 幸市・今元 鷹利</p> <p>阿武地区 (4名)</p> <p>河野 正人・宇田川重夫・丸尾 誠二 長嶺 文造</p>
---	--

昭和 11年 1936

- 特修実修所
(戦時下による年少部教育法が指導せられる)
5月27日～31日
東京府下東村山村久米川野営地
講師 三島通陽・吉野順一
実修者 47名 山口県からの参加者
菱班 中丸岩吉 梅鉢班 田門平八
- 第3回少年指導者講習会 年少部
6月17日～19日
門司市大里柳道場
小倉市連合少年団 常設野営場
講師 田門平八・中丸岩吉
受講者 22名
酒井庄吉郎・木村重雄
- 公認講習会
7月22日～26日
中之道道場
所長 田門平八
- 満州地方実修所
8月16日～22日
撫順道場
所長 田門平八 隊長 芦谷恭造
所員 中丸岩吉
実修者 47名
- 九州地方実修所
8月14日～20日
熊本県大観峰道場
所長 寺岡一義
受講者 42名 橘班 松田昌雄
- 九州地方実修所
9月12日～17日
福岡県糟屋郡宇美町 障子岳

- 難所ヶ滝道場
所長 田門平八 隊長 中丸岩吉
実修者 44名
- 福岡県少年団指導者公認講習会
8月18日～22日
主任講師 田門平八
- 第3回下関連合大野営
7月27日～31日
綾羅木海岸
参加者 200名
- 鉄道公德週間健児奉仕
6月25日～31日
下関市聯合少年団
- 少年団日本聯盟より大日本少年団 聯盟
と改正せられる。
4月13日 静岡にて結成会議
敬礼が三指より五指と成る。特に時局柄
尽忠報国堅忍持久を中心とする。
- 当時の『ちかい』『おきて』宣誓
私は神聖なる信仰に基き名誉にかけて、
次の三条を誓います。
 1. 神明を尊び皇室を敬います。
 1. 人の為、世の為、国の為に尽します。
 1. 少年団のおきてを守ります。
 おきて、
 1. 健児は忠孝を励む。
 2. ♪ 公明正大、名節を生命とする。
 3. ♪ 有為、世を益すことを務とする。
 4. ♪ 互に兄弟、総ての人を友とする。
 5. ♪ 常に親切、動植物を愛する。

下関市聯合少年団維新勤王後傑高杉東行先生銅像が日和山公園に建設せられる事になった
4月4日午前11時港駅より公園まで約1里の間運搬作業に奉仕した(少年団研究第13巻)

昭和12年 1937

- 6. ♪ 長上に信頼し、各団長に服従する。
- 7. ♪ 快活、笑って困難に当る。
- 8. ♪ 恭謙、礼儀正しい。
- 9. ♪ 勤儉質素である。
- 10. ♪ 心身共に清い。

○ 山口少年団 (登録番号1373)

(八木千太郎)

○ 加盟登録変更 貴船町少年団

(登録番号40) (六島嘉一)

○ 中国地方実修所 (年少部)

8月2日～8日

厳島道場

所長 田門平八 隊長 伊藤為道

副隊長 中丸岩吉

所員 中田清一

実修者 41名

田辺義雄(王司) 喜田憲一(桜山)

佐藤莞一(関西) 丸山 弘(豊浦)

桂 広繁(下関) 土山利夫(豊浦)

長谷執持(山口)

○ 九州地方実修所

7月22日～28日

宮之域掬水谷道場

所長 田門平八

○ 朝鮮地方実修所

8月1日～7日

金剛山道場

所員 森 基教

○ 暹羅派遣団参加

下関市園田町少年団 山本文三 (13才)

○ 大日本少年団聯盟関係物故者慰霊祭

(結成15周年記念)

参加者 王司村少年団団長 下岡 博市

健 児 磯崎 静子

園田町少年団副長 畠山 哲次

健 児 星野政嗣・平原国雄

青木広介・山本徳太郎

ので
第5号より)

昭和 13 年 1938

○ 第4回下関聯合大野營

8月1日～4日

○ 加盟団登録変更 豊浦小学校少年団
(登録番号 164) (岡本孝戎)

○ 長府少年義勇団 (岡本孝戎)

○ 特修実修所

7月3日～5日

東京市青山 青山会館内

講師 二荒 芳徳・中野 忠八

実修者 35名 中丸 岩吉 参加

○ 中国地方実修所

8月5日～11日

巖 島 道 場

所長 伊藤 為道 隊長 中丸 岩吉

伊藤 普 特別所長・酒井幾造

所員 松下 一男

実修者 29名

昭和14年 1939	昭和15年 1940
<p>○ 中国地方実修所</p> <p>8月13日～19日</p> <p>下関市小月町茶屋ヶ丘 下関道場</p> <p>所長 酒井 幾造 隊長 伊牟田直敏</p> <p>所員 中丸 岩吉・宮崎 潔</p> <p>隅田 悟郎・桂 広繁</p> <p>岡崎 仙龍・河村 信治</p> <p>受講者 42名</p> <p>毛利班 土井 利通・田中国夫</p> <p>大石班 藤井 春夫・石 飛三郎</p> <p>寺田 正</p> <p>新田班 岡村 善夫・小西百合雄・</p> <p>中丸 勇</p> <p>乃木班 村岡 紀郎・福山卓之助</p> <p>高杉班 長尾 喜介・古野 要人</p> <p>国弘 幸樹・藤井 久二</p> <p>東郷班 田辺 義雄・片岡 千雄</p> <p>黒水 雪雄・徳本 薫</p> <p>落合 重人</p> <p>○ 日本聯盟評議会に原田一二依嘱</p> <p>○ 下関市中央少年団</p> <p>○ 登録変更貴船町少年団</p> <p>(登録番号40) (三谷喜一)</p>	<p>○ 中国地方実修所</p> <p>8月8日～14日</p> <p>厳島 室ヶ浜 厳島道場</p> <p>所長 伊藤 為道 隊長 中丸 岩吉</p> <p>的井 勇</p> <p>実修者 33名</p> <p>新田班 藤井 久二</p> <p>加藤班 藤野 義孝・青木庄之助</p> <p>東郷班 中丸 勇</p> <p>徳川班 伊関 太一</p> <p>○ 九州地方実修所</p> <p>9月22日～28日</p> <p>門司市大里上馬寄柳道場</p> <p>所長 酒井 幾造 隊長 中丸 岩吉</p> <p>実修者 23名</p> <p>○ 大日本少年団連盟</p> <p>理事長 二荒 芳徳</p> <p>○ 関東地方指導者実修所</p> <p>5月14日～20日</p> <p>山中道場</p> <p>所長 米本 正 隊長 畑 東一郎</p> <p>受講者 鹿班 柳沢 勇</p> <p>伊達班 近藤 義治</p> <p>○ 日本聯盟地方委員依嘱、中丸 岩吉</p> <p>○ 下関中央少年団</p> <p>○ 竹崎少年団</p>

昭和 16 年 1941	昭和 20 年 1945
<p>○ 大日本少年団聯盟（財団法人）解散</p> <p>1月16日</p> <p>大東亜戦争たけなわとなり、今までの 大日本青年団、大日本聯合女子青年団 大日本少年団聯盟、帝国少年団協、等は 統合し、大日本青少年団が創立され、大日 本少年団聯盟は解散し、新たに、全国指導 者有志を結集し、二荒伯を会長として健児 会結成する。これは後日のスカウト活動再 建の基になる。</p>	

昭和 21 年 1946	昭和 22 年 1947
<p>○ 終戦後、山口県最初のボーイスカウト隊作らる。</p> <p>八城小学校で、森 基教氏が、児童8名位で結成、活動。</p> <p>○ 橋本正之氏 教育部長として赴任</p> <p>11月22日付、山口県教育部長として、内務省より赴任。</p>	<p>○ 県庁関係者</p> <p>県知事 田中 龍夫</p> <p>教育部長 橋本正之</p> <p>社会教育課長 赤石悦也</p> <p>社会教育係長 中所 泰</p> <p>○ 橋本教育部長、ボーイスカウトに力入れる</p> <p>中所係長に命じ、県内における過去のスカウト指導者を調査</p> <p>○ 終戦後最初のスカウト関係者の会合をもつ</p> <p>7月28日 於、山口県立科学博物館</p> <p>参集者 田村 保 (岩国)</p> <p>中丸 岩吉 (下関)</p> <p>宮本 正次 (大島)</p> <p>五嶋 光蔵 (仙崎)</p> <p>森 基教 (豊浦)</p> <p>隅田 悟郎 (下関)</p> <p>落合 重文 (下関)</p> <p>小島 孝惇 (岩国)</p> <p>兼安 哲丸 (宇部)</p> <p>中田 清一 (山口)</p> <p>○ ボーイスカウト研究クラブ規約作らる</p> <p>1. 本クラブをボーイスカウト研究クラブと称し、事務所を山口市上金古曾町37河村 敬二宅におく。</p> <p>2. 本クラブは、山口県内にボーイスカウト運動を普及発達させるのが目的である。</p>

<p>3. 右の目的を達成するために左の事業を行なう。</p> <p>(1) ボーイスカウトの理論及び実際の研究。</p> <p>(2) ボーイスカウト運動組織基準による研究。</p> <p>(3) 結成希望隊の補導。</p> <p>(4) 本部との連絡。</p> <p>(5) 其他必要と認められた事項。</p> <p>4. 本クラブに入会せんとするものは、クラブ員の紹介により入会金10円を要する。</p> <p>5. 本クラブに左の役員をおく。</p> <p> 常任幹事 1名 (河村敬二)</p> <p> 幹 事 若干名</p> <p>6. クラブの経費は会費(年額60円。年2回に分納する)及び寄附金その他を以て之に充てる。</p>	<p>○ ボーイスカウト第1回指導者講習会 (中国実修所で開催したのであるが後に講習会に変更) 10月15日～22日</p> <p> 山口市 山口道場</p> <p> 講師 三島 通陽・田村 保 中丸 岩吉・中所 泰</p> <p> 所員 森 基教・五嶋 光蔵 宮本 正次・兼安 哲丸</p> <p> 受講者 星出 和夫(大島) 長井 康・小島 孝惇 18名</p> <p>○ ボーイスカウト第2回指導者講習会 11月21日～25日</p> <p> 山口市 法泉寺</p> <p> 主催 本願寺派・山口教区教務所</p> <p> 講師 田村 保・森 基教</p> <p> 所員 兼安 哲丸・小島 孝惇 杉中 一郎</p> <p> 受講者 11名</p>
---	--

昭和 23 年 1948

○ 県庁関係

県知事 田中 龍夫
教育部長 橋本正之(3月まで)
和田克巳
社会教育課長 洲上 博
社会教育係長 中所 泰

○ ボーイスカウト山口県連盟創立さる

ボーイスカウト山口県連盟規約作らる
(7月3日)

本部は、県社会教育課内におく

創立当初役員

理事長 田村 保
理事 中丸 岩吉
田村 齊四郎
沖村 重誓
森 基教

宮本 正次(第1区)

河野 章二(第2区)

福田 徳三(第3区)

兼安 哲丸(第4区)

落合 重人(第5区)

五嶋 光蔵(第6区)

幹事 中所 泰
杉中 一郎

○ 第1回ボーイスカウト山口県大会並びに
県連盟結成式行なわる。

大会 9月10日 経専グラウンド
結成式 9月11日 山口師範学校講堂

○ 県連発足初の理事会開催

顧問推薦さる

宗教家 本願寺派教区長 兼安 英哲
一般人 中国新聞支局長 熊野 英坤
新聞人 防長新聞社長 伊藤 理基
事務局職員さまる。

局長 中所 泰

総主事 森 基教

企画部 沖村 重誓・石川 正英

指導部 五嶋 光蔵・宮本 正次

隅田 悟郎・兼安 哲丸

森 基教

総務部 隅田 悟郎・石川 正英

○ ボーイスカウト第3回指導者講習会

1月15日~16日

山口市大正通り 本願寺会館

講師 三島 通陽・関 忠志

田村 保

昭和 24 年 1949

○ ボーイスカウト第4回指導者養成講習所

8月7日～10日 会費 200円

下関市勝山 住吉神社附近

講師 名誉所長 三島 通陽

所長 田村 保

受講者 40名

○ ボーイスカウト指導者 第2回中国実修所

8月18日～24日

鑄銭司村 長沢道場

講師 名誉所長 三島 通陽

田村 保・尾崎 忠次

所員 森 基教・中所 泰

隅田 悟郎・五嶋 光蔵

宮本 正次・高橋 千之

実修者 兼安 哲丸・小島 孝惇

落合 重人・長井 康

河野 章二・15名

○ ボーイスカウト第5回指導者公認講習会

11月15日～19日 会費 250円

小野田市 中川山手附近

講師 田村 保・森 基教

受講者 17名

○ 県庁関係

県知事 田中 龍夫

教育部長 野村 幸祐

社会教育課長 藤本 菊二

社会教育係長 中所 泰

社会教育係 森 基教

○ 県連役員

連盟長 田中 龍夫

理事長 水野 文雄

副 兼安 哲丸

理事 森 基教

事務局長 中所 泰

○ 総会 (臨事総会)

4月23日 山口市、本願寺会館

23年度総会

9月10日

昭和 25 年 1950

○ 第6回公認指導者講習会

5月22日～24日

山口市嘉川

主任講師 森 基教

○ 第7回公認指導者講習会

7月6日～9日

大島郡小松町笠佐島

主任講師 森 基教

○ 第8回指導者講習会

12月5日～

湯本大寧寺

主任講師 中田 清一

○ 第1回特別実修所（日本連盟主催）

6月15日

実修者 兼安 哲丸・森 基教

○ 第1回ボーイスカウト日本大会

東京皇居前

山口県連 20名参加

○ 山口県大会

山口市駅通り

○ 県庁関係

県知事 田中 龍夫

教育部長 野村 幸祐

社会教育課長 藤本 菊二

社会教育係長 高井 晃

社会教育係 森 基教

○ 県連役員

連盟長 田中 龍夫

理事長 水野 文雄

理事 兼安 哲丸・中丸 岩吉

中田 清一・宮本 正次

森 基教・五嶋 光蔵

隅田 悟郎・小島 孝惇

沖村 重誓・河野 章二

監事 中所 泰・伊藤 理基

事務局長 森 基教

○ 指導者養成講習会

● 第9回BSコース。

6月17日～20日

長府・毛利邸

主任講師 兼安 哲丸

受講者 30名

● 第10回BSコース。

7月28日～31日

三隅町 明峰寺

主任講師 中田 清一

昭和26年 1951

●第11回BSコース。

8月27日～30日

岩国市 灘小学校

主任講師 宮本正次

受講者 41名

●第12回BSコース。

12月9日～11日

山口市古熊 善正寺

主任講師 中田清一

受講者 13名

○山口県大会

山口県連盟結成3周年記念。山口県大会

8月5日～6日

山口市 経専グラウンド

○全国大会

第2回日本大会

東京 新宿御苑

山口県連 70名参加

第1隊長 五嶋光蔵

第2隊長 河野章二

○県庁関係

県知事 田中龍夫

教育部長 野村幸祐

社会教育課長 藤本菊二

社会教育係長 大谷稔明

社会教育係 真田元祐

○県連役員

連盟長 田中龍夫

理事長 中田清一

理事 前年度の留任とす。

○指導者養成講習会

●第13回BSコース。

5月9日～12日

宇部市 教念寺

主任講師 中田清一

受講者 28名

●第14回BSコース。

7月21日～24日

防府市 阿弥陀寺

主任講師 中田清一

●第15回BSコース。

9月7日～9日

徳山市櫛ヶ浜 蓮生寺

主任講師 中田清一

受講者 32名

昭和27年 1952

○ 山口県大会

下関市野球場

○ 中国大会

第1回中国ブロック・ボーイスカウト大会

岡山市 朝日高校

○ 全国大会

第3回日本大会

山形県 蔵王山
山口県連 70名参加

○ 世界ジャンボリー

第7回世界ジャンボリー

オーストリア

○ 県庁関係

県知事 田中 龍夫

教育部長 野村 幸祐

社会教育課長 岡田 隆

社会教育係長 大谷 稔明

社会教育係 真田 元祐

○ 県連役員

連盟長 田中 龍夫

理事長 中田 清一

理事 前年度の留任とす。

○ 県連総会 6月8日 宇部市

○ 日連総会 6月14日～15日

静岡県 箱根 2名出席

○ 指導者養成講習会

●第16回BSコース。

7月21日～24日

光市

主任講師 兼安 哲丸

○ 実修所

第5回中央実修所 7月1日～9日

山中野営場 榎木 久雄参加

第6回 〃 8月29日～9月6日

山中野営場 亀山・永松・太田参加

○ 中国ブロック指導者研修会

8月1日～7日 島根県 三井ノ原

昭和 28 年 1953

○ 県庁関係

県知事 小澤 太郎
教育部長 野村 幸祐
社会教育課長 岡田 隆
社会教育係長 大谷 稔明
社会教育係 真田 元祐

○ 県連役員

連盟長 小澤 太郎
副 〃 安野 春美 (33.14 死亡)
理事長 中田 清一
県コミ 太田 耕作
副 〃 永松 省治
〃 〃 榎木 久雄
事務局長 兼安 哲丸
理 事 西村 滋
中丸 岩吉
小島 孝惇
桑原 法道 (1 地区)
河野 章二 (2 地区)
田中 為一 (3 地区)
兼安 哲丸 (4 地区)
隅田 悟郎 (5 地区)
五嶋 光蔵 (6 地区)
名誉会議員 縄田 正隆
水野 文雄
石田 一夫
中田 清一
片山 正乗

○ 県連総会

6月14日 小郡町 公民館

○ 指導者養成講習会

●第17回BSコース。

10月2日～5日

宇部市 教念寺

主任講師 兼安 哲丸

受講者 12名

○ 中国ブロック指導者研修所

8月4日～10日

鳥取県 大山村

本県関係奉仕 亀山 俊雄

○ 中国大会

第2回中国ブロック・ボーイスカウト大会

広島市 総合グラウンド

昭和 29年 1954

○ 県庁関係

県知事 小澤 太郎
教育部長 野村 幸祐
社会教育課長 岡田 隆
社会教育係長 大谷 稔明
社会教育係 真田 元祐

○ 県連役員

連盟長 小澤 太郎
副 〃 安野 春美
理事長 河野 章二
県コミ 太田 耕作
副 〃 榎木 久雄
事務局長 永松 省治
理事 岡田 隆
落合 重人
田中 為一
隅田 悟郎
一二三市江
桑原 法道
小島 孝惇
五嶋 光蔵
宮本 正次
監 事 中丸 岩吉
安部 義正
名誉会議員 田中 龍夫
中田 清一
片山 正乗
田村 保

○ 県連総会

6月6日
防府市 毛利邸

○ 中国ブロック会議

10月30日～31日
岡山市

○ 指導者養成講習会

●第18回BSコース。
5月2日～5日

小郡町 東津 好堪寺
主任講師 永松 省治
受講者 18名

●第19回BSコース

8月20日～23日
仙崎 青海島小学校
主任講師 桑原 法道
受講者 31名

○ 山口県大会

7月30日～8月1日
徳山市 毛利公邸

○ 山口県教育委員会表彰

11月3日 河野 章二

昭和30年 1955

○ 県庁関係

県知事 小澤 太郎
教育部長 野村 幸祐
社会教育課長 岡田 隆
社会教育係長 萩山 称人
社会教育係 真田 元祐

○ 県連役員

連盟長 小澤 太郎
副 〃 安野 春美
理事長 河野 章二
県コミ 太田 耕作
副 〃 榎木 久雄
事務局長 永松 省治
理 事 岡田 隆
小島 孝惇
宮本 正次
桑原 法道
田中 為一
一二三市江
五 嶋 光 蔵
監 事 安部 義正
名誉会議員 田中 龍夫
中田 清一
田村 保
片山 正乗

○ 県連総会

5月22日 防府市 毛利邸

○ 中国ブロック会議

11月26日～27日
広島市 双葉の里

○ 指導者養成講習会

● 第20回BSコース
8月20日～22日
下松市 下松高校
主任講師 河野 章二
受講者 12名

○ 第5回中国地方指導者研修所

8月20日～26日
岡山県 金光町
所長 吉川 哲雄
入所者 河野 章二・岡寺 正夫

○ 中国大会

第3回
8月13日～15日
岩国市 錦帯橋

○ 世界ジャンボリー

第8回世界ジャンボリー カナダ

昭和 31 年 1956

○ 県庁関係

県知事 小澤 太郎
 教育部長 藤本 菊二
 社会教育課長 後藤 泰一
 社会教育係長 三好 啓治
 社会教育係 真田 元祐

○ 県連役員

連盟長 小澤 太郎
 副 “ 安野 春美
 “ “ 藤本 菊二
 理事長 河野 章二
 指導主事 太田 耕作
 副 “ 岡寺 正夫
 “ “ 細田 久雄
 事務局長 永松 省治
 理事 桑原 法道
 宮本 正次
 一 二 三 市 江
 隅 田 悟 郎
 岡 田 隆
 後 藤 泰 一
 小 島 孝 惇 (1 地区)
 岡 寺 正 夫 (2 地区)
 田 中 為 一 (3 地区)
 中 板 孝 祐 (4 地区)
 辻 野 浩 二 (5 地区)
 五 嶋 光 蔵 (6 地区)

監 事 安部 義正・木阪 清一
 名誉会議員 中丸 岩吉・毛利 元道
 田中 龍夫・片山 正乗
 野村 幸祐・水野 文雄
 福田 泰三・作間 正朝
 河内 競・丸茂 忍
 中村 良治・原田 清作

○ 県連総会

4月22日 小郡町 公民館

○ 中国ブロック会議

11月10日～11日
 山口市 湯田 かめ福

○ 指導者養成講習会

● 第21回BSコース。

8月25日～27日

萩市 東光寺

主任講師 河野 章二

受講者 24名

○ 全国大会

● 第1回日本ジャンボリー

8月1日～5日 長野県 軽井沢

山口県連 200名参加

○ 表彰

鳩 章 田 村 保

○ 財団法人日本社会教育協会長より表彰

中丸 岩吉・河野 章二

昭和32年 1957

○ 県庁関係

県知事 小澤 太郎
教育長 藤本 菊二
社会教育課長 後藤 泰一
社会教育係長 三好 啓治
社会教育係 吉村 太郎

○ 県連役員

連盟長 小澤 太郎
副 〃 安野 春美
理事長 河野 章二
副 〃 小島 孝惇
県コミ 太田 耕作
副 〃 細田 久雄
〃 〃 岡寺 正夫
事務局長 永松 省治
理 事 岡田 隆・小島 孝惇
清水 賢三・森口 泰助
辻野 浩二・五嶋 光蔵
宮本 正次・桑原 法道
隅田 悟郎・田中 為一
大久保英夫・野村 幸祐
作間 正朝・福田 泰三
河内 競・原田 清作
丸茂 忍・中村 良治
監 事 桑原 光広・安部 義正
名誉会議員 田中 龍夫・中丸 岩吉
毛利 元道・片山 正成
水野 文雄

○ 県連総会

4月14日 防府市多々良 毛利邸

○ 中国ブロック会議

5月2日～3日 島根県松江市 岩田屋
臨時会議（日連規約改正）

12月22日 岡山県 金光町

○ 指導者養成講習会

● 第22回BSコース。

9月21日～23日

岩国市 本能寺

受講者 12名

主任講師 宮本 正次

第1回CSコース。

1月15日～16日

下松市旭町 浜田旅館

主任講師 河野 章二

受講者 16名

○ 中国地方実修所

第1回 8月19日～25日

広島市 宮島

所長 山口 勝治

○ 西日本大会

8月2日～4日

島根県松江市 宍道湖畔

○ 世界ジャンボリー

第9回 イギリス

昭和 33 年 1958

○ ギルウエル

第1期日本ギルウエル
5月25日～6月2日
山中野営場
所長 古田 誠一郎
受講者 河野 章二

○ 表 彰

鳩 章 中丸 岩吉
河野 章二
公共奉仕章 岡迫 孝雄

○ 県庁関係

県知事 小澤 太郎
教育長 藤本 菊二
社会教育課長 大久保英夫
社会教育係長 三好 啓治
社会教育係 吉村太一郎

○ 県連役員

連盟長 小澤 太郎
副 “ 藤本 菊二
理事長 河野 章二
副 “ 小島 孝惇
“ “ 隅田 悟郎
県コミ 太田 耕作
副 “ 岡寺 正夫
事務局長 永松 省治
理 事 桑原 法道・清水 賢三
森口 泰助・辻野 浩二
古田 弘・宮本 正次
五嶋 光蔵・大久保英夫
永松 省治
監 事 河野 一雄
横山 貞次
名誉会議員 田中 為一
中丸 岩吉
毛利 元道
片山 正成
丸 茂 忍

昭和34年 1959

○ 県連総会

5月11日 山口市湯田 山泉荘

○ 中国ブロック会議

1月25日～26日

島根県 玉造温泉 松の湯

○ 指導者養成講習会

● 第23回BSコース

10月18日～20日

美禰市 於福公民館

主任講師 河野 章二

受講者 31名

● 第2回CSコース

5月13日～15日

岩国市

主任講師 宮本 正次

受講者 32名

○ 山口県大会

B.S. G.S. 合同野営大会

8月2日～4日

萩市 指月公園

○ 表彰

山口県教育委員会表彰

岩国第1団

○ 県庁関係

県知事 小澤 太郎

教育長 藤本 菊二

社会教育課長 大久保英夫

社会教育係長 三好 啓治

社会教育係 吉村 太郎

○ 県連役員

連盟長 小澤 太郎

副 ヶ 藤本 菊二

〃 〃 末山 正顕

理事長 河野 章二

副 ヶ 小島 孝惇

〃 〃 隅田 悟郎

県コミ 太田 耕作

副 ヶ 岡寺 正夫

〃 〃 横山 貞次

指導主事 増永 繁男

事務局長 永松 省治

理事 宮本 正次・五嶋 光蔵

大久保英夫・永松 省治

隅田 悟郎・桑原 法道

中丸 岩吉

小島 孝惇 (1地区)

河野 章二 (2地区)

清水 賢三 (3地区)

森口 泰助 (4地区)

藤井 英夫 (5地区)

<p style="text-align: center;">古田 弘 (6地区)</p> <p>監 事 河野 一雄・辻 博顕 名誉会議員</p> <p>○ 県連総会 5月24日 防府市多々良 毛利邸</p> <p>○ 中国ブロック会議 1月11日 鳥取県鳥取市 臨時会議 3月23日 岡 山 市</p> <p>○ 指導者養成講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> • 第24回BSコース。 6月13日～15日 宇部市東岐波 公民館 主任講師 宮本 正次 受講者 24名 • 第25回BSコース 10月17日～19日 山口市宮野 常栄寺 主任講師 太田 耕作 受講者 22名 • 第3回CSコース 3月21日～22日 岩国市通津 公民館 主任講師 宮本 正次 受講者 18名 	<p>○ 中国地方実修所 第1期BSコース。9月21日～26日 山口県参加者 小島 孝悖・古田 弘・中村万喜夫</p> <p>○ 日本ジャンボリー 第2回 8月6日～10日 滋賀県 琵琶湖畔 饗庭野 県連参加人員</p> <p>○ 世界ジャンボリー 第10回 フィリッピン マッキンリン国立公園 10名参加 小島 孝悖・河野 章二 永松 省治・古田 弘 岩国1団 (棟近 隆・重野康夫)</p> <p>○ 表 彰 山口県教育委員会表彰 防府第1団</p>
---	---

昭和35年 1960

○ 県庁関係

県知事 小澤 太郎・橋本 正之
(9月より)

教育長 藤本 菊二

社会教育課長 松永 常一

社会教育係長 木村 一人

社会教育係 藤野 智定

○ 県連役員

連盟長 小澤 太郎・橋本 正之
(9月より)

副 〃 藤本 菊二

〃 〃 末山 正顕

理事長 小島 孝悳

副 〃 宮本 正次

〃 〃 五嶋 光蔵

県コミ 太田 耕作

副 〃 横山 貞次

指導主事 増永 繁男

亀山 俊雄

事務局長 小島 孝悳

理 事 小島 孝悳 (1地区)

河野 章二 (2地区)

長富 春一 (3地区)

森口 泰助 (4地区)

藤井 英夫 (5地区)

古田 弘 (6地区)

永久 鉄哉・佐伯 正道

岡寺 正夫・阿山 勇祐

中村万喜夫・松永 常一

大久保英夫・桑原 法道

永松 省治・中丸 岩吉

三木 吉生

監 事 河野 一雄・辻 博顕

名誉会議員 田中 為一・田中 龍夫

小澤 太郎・福田 泰三

○ 県連総会

4月24日 小郡町公民館

○ 中国ブロック会議

11月 日 広島市

○ 指導者養成講習会

・第26回BSコース。

6月3日～5日

萩市中央公民館

主任講師 古田 弘

受講者 22名

・第27回BSコース。

8月4日～6日

柳井市 柳井中学校

主任講師 宮本 正次

受講者 21名

・第4回CSコース。

10月28日～30日

石城山青少年宿泊訓練所

主任講師 小島 孝悳

○ 中国地方実修所

第2期BSコース 7月

昭和36年 1961

○アメリカ、ジュビリー、ジャンボリー

コロラド、スプリングス

参加者 岩国1団(2名) 船越 浩
小林 幹男

○ギルウエル

・第4期ギルウエル 8月17日～25日

那須野営場

所長 古田誠一郎

受講者 太田 耕作・横山 貞次

・カブ1期 8月25日～30日

那須野営場

所長 古田誠一郎

受講者 小島 孝惇

○表彰

鷹章 小澤 太郎
郭公章 永松 省治
宮本 正次
県連有功章 中丸 岩吉
河野 章二
森口 泰助
藤井 英夫

○県庁関係

県知事 橋本 正之
教育長 藤本 菊二
社会教育課長 松永 常一
青少年教育係長 東 喜好
青少年教育係 藤野 智定

○県連役員

連盟長 橋本 正之
副 〃 藤本 菊二
〃 〃 末山 正顕
理事長 小島 孝惇
副 〃 宮本 正次
〃 〃 五嶋 光蔵
県コミ 太田 耕作
副 〃 横山 貞次
〃 〃 亀山 俊雄
事務局長 小島 孝惇
理事 桑原 法道・岡迫 孝雄
田村 敏雄・永松 省治
岡寺 正夫・永久 鉄哉
長富 春一・佐伯 正道
中板 孝祐・阿山 勇祐
古田 弘・松永 常一
大久保英夫・河野 章二
中丸 岩吉・小島 孝惇
宮本 正次・五嶋 光蔵
監事 河野 一雄・中村 政一

<p>名誉会議員 安東 一光・辻 博 顯 石津 勝治・中丸 岩吉 河野 章二</p> <p>○ 県連総会 4月16日 小郡町公民館</p> <p>○ 中国ブロック会議 11月25日～26日 山口市</p> <p>○ 指導者養成講習会 ・第28回BSコース。 8月18日～20日 下関市 日新中学校 主任講師 五嶋 光蔵</p> <p>・第5回CSコース 5月12日～14日 宇部市東岐波公民館 主任講師 小島 孝惇 受講者 44名</p> <p>○ 中国地方実修所 CSコース 7月 山口県 石城山青少年宿泊訓練所</p> <p>○ 西日本大会 岡山県 蒜山高原 参加者 403名</p> <p>○ ギルウエル 第5期BSコース 5月27日～6月4日 那須野営場 所長 尾崎 忠次</p>	<p>受講者 森口 泰助 第6期BSコース 8月6日～10日 那須野営場 所長 尾崎 忠次 受講者 中板 孝祐</p> <p>○ 表彰 県教委表彰 永松 省治 県連有功章 岡迫 孝雄 細田 久雄 桑原 法道 中板 孝祐 亀山 俊雄 岡寺 正夫</p>
--	---

昭和 37 年 1962

○ 県庁関係

県知事 橋本 正之
教育長 藤本 菊二
社会教育課長 西村 談
青少年教育係長 東 喜好
青少年教育係 藤野 智定

○ 県連役員

連盟長 橋本 正之
副 〃 藤本 菊二
〃 〃 末山 正顕
理事長 小島 孝惇
副 〃 滝原 常雄
〃 〃 岡寺 正夫
県コミ 太田 耕作
副 〃 横山 貞次
〃 〃 亀山 俊雄
指導主事 増永 繁雄
中板 孝祐
事務局長 永松 省治
需品部 杉本運動具店
理事 桑原 法道・田村 敏雄
岡寺 正夫・山根 勝
永久 鉄哉・渡壁 克巳
吉村 光政・山本 順二
中村 万喜夫・阿山 勇祐
松永 常一・大久保 英夫
河野 章二・中丸 岩吉

小島 孝惇・宮本 正次
五嶋 光蔵
岡迫 孝雄 (1地区)
永松 省治 (2地区)
長富 春一 (3地区)
佐伯 正道 (4地区)
伊藤 郁郎 (5地区)
古田 弘 (6地区)

監事 河野 一雄・森重 利雄
名誉会議員 安東 一光・辻 博顕
石津 勝治・安部 義正
中村 政一

○ 県連総会

4月15日 山口市湯田 山泉荘

○ 中国ブロック会議

○ 指導者養成講習会

・第29回BSコース

5月26日～28日

防府市 阿弥陀寺

主任講師 太田 耕作

受講者 23名

・第30回BSコース

9月14日～16日

美禰市於福公民館

主任講師 横山 貞次

受講者 13名

<p>• 第31回BSコース。 12月1日～3日 石城山青少年宿泊訓練所 主任講師 岡寺 正夫 受講者 23名</p> <p>○ 中国地方実修所 第3期BSコース。8月17日～22日 島根県 三井原 本県関係奉仕 亀山俊雄</p> <p>○ アジア・ジャンボリー 第1回アジヤジャンボリー 第3回日本ジャンボリー 静岡県 御殿場 参加者 506名</p> <p>○ ギルウエル 第7期BSコース。 8月18日～26日 那須野営場 所長 吉川 哲雄 受講者 古田 弘・岡寺 正夫</p> <p>○ 表彰 鷹章 田中 龍夫 郭公章 太田 耕作・藤本 菊二 県連有功章 小島 孝惇・古田 弘 河田 新・大久保英夫 五嶋 光蔵・阿山 勇祐 山本 春江・末山 正顕 公民章 吉岡 春紀・河野 宏志 田中 洋輔</p>	<p>○ 日連役員 理事 河野 章二 参与 中丸 岩吉</p>
--	---

昭和38年 1963

○ 県庁関係

県知事 橋本 正之
 教育長 藤本 菊二
 社会教育係長 西村 談
 青少年教育係長 相本 三郎
 青少年教育係 藤野 智定

○ 県連役員

連盟長 橋本正之
 副 〃 藤本 菊二
 〃 〃 末山 正顕
 理事長 小島 孝惇
 副 〃 滝原 常雄
 〃 〃 岡寺 正夫
 県コミ 太田 耕作
 副 〃 横山 貞次
 〃 〃 亀山 俊雄
 指導主事 中板 孝祐
 事務局長 永松 省治
 理 事 桑原 法道・永松 省治
 長富 春一・佐伯 正道
 阿山 勇祐・村木 清治
 松永 常一・大久保英夫
 河野 章二・中丸 岩吉
 西村 談
 先 達 中丸 岩吉・河野 章二
 監 事 河野 一雄・阿部 義正
 名誉会議員 安東 一光・辻 博顕
 石津 勝治・山根 勝

地区コミ 岡迫 孝雄 (1地区)
 増永 繁男 (2地区)
 永久 鉄哉 (3地区)
 森口 泰助 (4地区)
 武内 正一 (5地区)
 古田 弘 (6地区)

需品部 杉本運動具店

○ 県連総会

4月21日 山口市湯田 防長苑

○ 中国ブロック会議

2月14日～15日 島根県 松江市

○ 指導者養成講習会

・第32回BSコース。
 5月25日～27日
 秋穂町中学校

主任講師 太田 耕作

受講者 27名

○ 中国地方実修所

岡山県

○ 山口県大会

国体奉仕活動実技研修大会
 防府市 航空自衛隊

○ 日連役員

前年度より2名

昭和39年 1964

○ 世界ジャンボリー

第11回ギリシヤ マラトン海岸

参加者 岩国1団
春岡 春紀 1名

○ ギルウエル

・第4期CSコース。8月25日～30日

那須野営場

所長 尾崎 忠次

受講者 永松 省治

○ 表彰

郭公章 小島 孝惇

県連有功章 太田 耕作

横山 貞次

辻 博顕

永松 省治

公共奉仕綬 岩国第1団少年隊

○ 県庁関係

県知事 橋本 正之

教育長 藤本 菊二

社会教育課長 荒瀬 三郎

青少年係長 相本 三郎

青少年係 河村 幸子

○ 県連役員

連盟長 橋本 正之

副 〃 藤本 菊二

〃 〃 末山 正顕

理事長 小島 孝惇

副 〃 滝原 常雄

〃 〃 岡寺 正夫

理事 桑原 法道・長富 春一

徳永 勝亮・阿山 勇祐

古田 弘・荒瀬 三郎

大久保英夫・河野 章二

中丸 岩吉・原川 康

永松 省治

県コミ 太田 耕作

副 〃 横山 貞次

〃 〃 亀山 俊雄

〃 〃 中板 孝祐

事務局長 永松 省治

監事 河野 一雄・森重 利雄

名誉会議員 安東 一光・辻 博道

石津 勝治・山根 勝

<p>地区コミ 岡迫 孝雄 (1地区) 増永 繁男 (2地区) 永久 鉄哉 (3地区) 森口 泰助 (4地区) 武内 正一 (5地区) 古田 弘 (6地区)</p> <p>需品部 杉本運動具店</p> <p>○ 県連総会 4月19日 山口市 山泉荘</p> <p>○ 中国ブロック会議 2月8日～9日 鳥取市 白兔荘</p> <p>○ 指導者養成講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> • 第6回CSコース 3月20日～22日 大島海洋訓練所 主任講師 小島 孝惇 8名 • 第33回BSコース 5月30日～6月1日 宇部市青年の家 主任講師 中板 孝祐 受講者 19名 • 第34回BSコース。 7月25日～27日 下関市 日新中学校 主任講師 横山 貞次 受講者 12名 	<p>○ 中国地方実修所 第5期BSコース 8月24日～29日 広島県</p> <p>○ 表彰 郭公章 横山 貞次 県連有功章 隅田 悟郎 増永繁男</p> <p>○ 日連役員 前記 2名</p>
---	---

昭和40年 1965

○ 県庁関係

県知事 橋本正之
 教育長 藤本菊二
 社会教育課長 荒瀬三郎
 青少年係長 白松寿人
 青少年係 好川武志

○ 県連役員

連盟長 橋本正之
 副 〃 藤本菊二
 〃 〃 末山正顕
 理事長 小島孝惇
 副 〃 滝原常雄
 〃 〃 岡寺正夫
 理事 長富春一・山田康人
 徳永勝亮・阿山勇祐
 古田弘・荒瀬三郎
 大久保英夫・河野章二
 中丸岩吉・原川康
 永松省治
 県コミ 太田耕作
 副 〃 横山貞次・亀山俊雄
 中板孝祐
 事務局長 永松省治
 監事 河野一雄・森重利雄
 名誉会議員 安東一光・河野章二
 石津勝治・山根勝
 五嶋光蔵
 地区コミ 桑原法道(1地区)

松田一郎(2地区)
 永久鉄哉(3地区)
 森口泰助(4地区)
 武内正一(5地区)
 古田弘(6地区)

○ 需品部 杉本運動具店

○ 県連総会

4月25日 岩国市 米平旅館

○ 中国ブロック会議

3月6日～7日 岡山市 まびき荘

○ 指導者養成講習会

・第35回BSコース。

5月22日～24日

美禰市於福公民館

主任講師 横山貞次

受講者 26名

・第7回CSコース。

11月6日～8日

石城山青少年宿泊訓練所

主任講師 横山貞次

受講者 13名

○ 中国地方実修所

第6期CSコース。

8月13日～19日

山口県 石城山道場(大波野)

○ 表彰 鷹章 橋本正之

郭公章 五嶋光蔵

○ 日連役員 中央理事 河野章二

昭和41年 1966

○ 県庁関係

県知事 橋本 正之
 教育長 熊野 一
 社会教育課長 荒瀬 三郎
 青少年係長 白松 寿人
 青少年係 好川 武志

○ 県連役員

連盟長 橋本 正之
 副 〃 熊野 一
 〃 〃 末山 正顕
 理事長 小島 孝惇
 副 〃 原川 康
 〃 〃 岡寺 正夫
 理事 荒瀬 三郎・大久保英夫

中丸 岩吉・河野 章二
 永松 省治・川添 常一
 長富 春一・徳永 勝亮
 阿山 勇祐・村木 清治

県コミ 太田 耕作
 副 〃 横山 貞次・亀山 俊雄
 〃 〃 中板 孝祐

事務局長 永松 省治
 監 事 河野 一雄・森重 利雄
 名誉会議員 安東 一光・河野 章二
 山根 勝・五嶋 光蔵
 石津 勝治

地区コミ 桑原 法道 (1地区)
 松田 一郎 (2地区)

永久 鉄哉 (3地区)

中板 孝祐 (4地区)

武内 正一 (5地区)

古田 弘 (6地区)

地区副コミ 賀屋 文三 (1地区)

福本 康人 (2地区)

引頭 義男 (3地区)

佐藤 巽 (4地区)

満長 明德 (5地区)

○ 需品部 杉本運動具店

○ 県連総会

4月17日 徳山市 湯野温泉

○ 中国ブロック会議

1月29日～30日
 広島市 郵政会館

○ 指導者養成講習会

第36回BSコース。
 7月9日～11日

都濃郡鹿野町 学校寄宿舎

主任講師 横山 貞次

受講者 36名

○ 中国地方実修所

○ 第4回日本ジャンボリー

8月5日～9日

岡山県 日本原 参加人員504名

昭和42年 1967

○表彰

鷹章 中丸 岩吉
 河野 章二
 郭公章 岡寺 正夫
 末山 正顕
 田中 為一
 県連有功章 永久 鉄哉
 河野 一雄
 石津 勝治
 安東 一光
 長富 春一

○宗教章

仏教章 岩国1団SS
 岩井 昭

○技能章

準章 岩国1団SS 宮村 哲夫
 羽村 特美

○日連役員

名誉会議員 河野 章二

○県庁関係

県知事 橋本 正之
 教育長 熊野 一
 社会教育課長 作間 淑郎
 青少年係長 白松 寿人
 青少年係長 好川 武志

○県連役員

連盟長 橋本 正之
 副 〃 熊野 一
 〃 〃 末山 正顕
 理事長 小島 孝惇
 副 〃 原川 康
 〃 〃 永松 省治
 理事 作間 淑郎・河野 章二
 中丸 岩吉・永松 省治
 小島 孝惇・原川 康
 大久保英夫・滝原 常雄
 川添 常一(1地区)
 岡寺 正夫(2地区)
 長富 春一(3地区)
 桜井 孝(4地区)
 阿山 勇祐(5地区)
 村木 清治(6地区)
 県コミ 太田 耕作
 副 〃 横山 貞次・亀山 俊雄
 古田 弘
 事務局長 永久 鉄哉
 監事 河野 一雄・森重 利雄

<p>名誉会議員 安東 一光・山根 勝 河野 章二・五嶋 光蔵 石津 勝治</p> <p>地区コミ 桑原 法道 (1地区) 松田 一郎 (2地区) 引頭 義男 (3地区) 中板 孝祐 (4地区) 武内 正一 (5地区) 宮本 雅通 (6地区)</p> <p>地区副コミ 賀屋 文三 (1地区) 福本 康人 (2地区) 西村 讓治 (3地区) 佐藤 巽 (4地区) 満長 明德 (5地区) 田村 雅利 (6地区)</p> <p>○ 需品部 杉本運動具店</p> <p>○ 県連総会 4月3日 山口市 柳井旅館</p> <p>○ 中国ブロック会議 2月 山口市 翠山荘</p> <p>○ 指導者養成講習会 ・第37回BSコース。 5月19日～21日 玖珂郡周東町 通化寺 主任講師 古田 弘 受講者 33名</p>	<p>・第38回BSコース。 10月21日～24日 山口市小 禅昌寺 (曹洞宗主催) 主任講師 小島 孝惇 受講者 25名</p> <p>・第8回CSコース 11月24日～26日 石城山青少年宿泊訓練所 主任講師 小島 孝惇 受講者 14名</p> <p>○ 中国地方実修所 ・第8期BSコース。 8月3日～8日 鳥取県 大山道場 所長 小川 玄諦 本県関係奉仕 古田 弘</p> <p>・第9期BSコース。 8月21日～26日 広島県 自衛隊 原川 所長 伊藤 為道</p> <p>○ 少年幹部研修大会 8月10日～13日 宇部市 常磐湖畔 参加人員240名</p> <p>○ 第12回世界ジャンボリー 7月29日～8月29日 アメリカ。アイダホ州 フアラガット国立公園 参加者 3名 岩国1団 山本 義信 岩国2団 松塚 展門 山口2団 原田 寛</p>
---	---

昭和43年 1968

○ ギルウエル

第16期BSコース

8月21日～29日 那須野営場

所長 山田利雄

参加者 武内正一・亀山俊雄
満長明德・永久鉄哉

○ 宗教章

仏教章 岩国1団SS

山本光信・白銀道夫

○ 県庁関係

県知事 橋本正之

教育長 熊野一

社会教育課長 作間淑郎

青少年係長 中村貞行

青少年係 好川武志

○ 県連役員

連盟長 橋本正之

副 〃 熊野一

〃 〃 末山正顕

理事長 小島孝惇

副 〃 原川康

〃 〃 岡寺正夫

〃 〃 永松省治

理事 作間淑郎・河野章二

中丸岩吉・永松省治

小島孝惇・原川康

大久保英夫・永久鉄哉

川添常一(1地区)

永松省治(2地区)

長富春一(3地区)

桜井孝(4地区)

阿山勇祐(5地区)

西林直輝(6地区)

県コミ 太田耕作

副 〃 横山貞次・亀山俊雄

〃 〃 古田弘

事務局長 永久鉄哉

<p>監事 河野一雄・森重利雄 名誉会議員 安東一光・山根勝 河野章二・五嶋光藏 石津勝治</p> <p>地区コミ 桑原法道(1地区) 松田一郎(2地区) 引頭義男(3地区) 中板孝祐(4地区) 武内正一(5地区) 宮本雅通(6地区)</p> <p>地区副コミ 賀屋文三(1地区) 福本康人(2地区) 西村讓治(3地区) 佐藤巽(4地区) 満長明德(5地区) 田村雅利(6地区)</p> <p>○ 需品部 杉本運動具店</p> <p>○ 県連總會 4月21日 宇部市 勤労青少年会館</p> <p>○ 中国ブロック会議 3月23日 島根県 玉造温泉 皆美旅館</p> <p>○ 指導者養成講習会 ・第39回BSコース。 6月22日～24日 光市室積町・福祉センター</p>	<p>主任講師 永松省治 受講者 30名 ・第40回BSコース。 7月27日～29日 下関市長府・正円寺 主任講師 古田弘 受講者 21名</p> <p>○ 中国地方実修所 ・第2期CSコース。 8月21日～26日 岡山県 金光道場 所長 佐藤俊夫 本県関係奉仕 小島孝惇</p> <p>○ 第1回九州野営大会 8月2日 6日 熊本県大矢野原 参加人員 128名</p> <p>○ ギルウエル ・第19期BSコース 8月21日～28日 8月21日～28日 那須野営場 所長 参加者 野川忠信</p> <p>○ 表彰 県連有功章 村木清治・武内正一 山根勝・滝原常雄</p> <p>○ 宗教章 仏教章 岩国1団SS。高山岳秀</p> <p>○ 日連役員 理事 河野章二 諮問委員 岡寺正夫</p>
---	---

昭和44年 1969

○ 県庁関係

県知事 橋本 正之
 教育長 熊野 一
 社教課長 村瀬 和徳
 社教補佐 津田 正人
 青少年係長 中村 貞行
 青少年係 山中 功

○ 県連役員

連盟長 橋本 正之
 副 〃 熊野 一
 〃 〃 末山 正顕
 理事長 小島 孝悳
 副 〃 原川 康
 〃 〃 岡寺 正夫
 〃 〃 永松 省治
 理事 村瀬 和徳・河野 章二
 中丸 岩吉・永松 省治
 小島 孝悳・原川 康
 大久保英夫・永久 鉄哉
 川添 常一 (1地区)
 永松 省治 (2地区)
 長富 春一 (3地区)
 桜井 孝 (4地区)
 阿山 勇祐 (5地区)
 西林 直輝 (6地区)
 県コミ 太田 耕作
 副 〃 横山 貞次・亀山 俊雄
 古田 弘

事務局長 永久 鉄哉
 監 事 河野 一雄・森重 利雄
 名誉会議員 中丸 岩吉・山根 勝
 河野 章二・五嶋 光蔵
 石津 勝治

地区コミ 桑原 法道 (1地区)
 松田 一郎 (2地区)
 引頭 義男 (3地区)
 加藤 博文 (4地区)
 武内 正一 (5地区)
 宮本 雅通 (6地区)
 地区副コミ 賀屋 文三 (1地区)
 福本 康人 (2地区)
 三坂 玉良 (3地区)
 (4地区)
 満長 明德 (5地区)
 田村 雅利 (6地区)

○ 需品部 杉本運動具店

○ 県連総会

臨時総会 2月2日 防府市公会堂
 年次総会 4月27日 下関市中央公民館

○ 中国ブロック会議

3月1日～2日 鳥取市 新温泉

<p>○ 指導者養成講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> • 第41回BSコース。 6月21日～23日 大島海洋訓練所（GS合同） 主任講師 武内 正一 受講者 41名 • 第9回CSコース。 8月23日～25日 岩国市 通津公民館 主任講師 小島 孝惇 受講者 15名 <p>○ ウッドバッジ研修所</p> <p>第1期CSコース。 8月21日～24日 広島工大セミナハウス 所長 佐藤 俊夫</p> <p>○ ボーイスカウト山口県連創立20周年 野営大会 8月2日～5日 玖珂町 鞍掛野営場 参加人員 933名</p> <p>○ ボーイスカウト山口県連創立20周年 記念式典 11月15日 懇親会 鳳荘 16日 式典 白石小学校講堂</p> <p>○ 表彰</p> <p>県連有功章 森重 利雄 人命救助 田布施第1団 年長班</p>	<p>○ 宗教章</p> <p>仏教章 岩国1団SS 高山 克海 山本 義信</p> <p>○ 日連役員</p> <p>理事 河野 章二</p>
---	--

各種大会一覽表

各種大会一覧表

	B S 県大会	BS少年幹部県大会	B S 中国大会	B S 西日本大会
昭23 1948	9月11日 経専ブランド			
昭24 1949	山口市駅通り			
昭25 1950	8月5日～6日 山口市経専グラウンド (県連3周年としている)			
昭26 1951	下関市野球場		第1回中国ブロックB・S大会 岡山市朝日高校1泊2日	
昭27 1952				
昭28 1953			第2回中国ブロックB・S大会 広島市総合グラウンド 2泊3日	
昭29 1954	7.03～8.1 徳山市毛利公園			
昭30 1955			第3回中国合同野営 8.13～15 岩国市錦帯橋2泊3日	
昭31 1956				
昭32 1957				西日本大会8.2～4 松江市尖道湖畔
昭33 1958	B S . G S 合同山口県 大会8.2～4 萩市 指月公園			
昭34 1959				
昭35 1960	岩国市			

日本ジャンボリー		世界ジャンボリー	
			9月11日白石小学校で 県連結成大会開催
第1回日本大会 東京、皇居前			
第2回日本大会 東京、新宿御苑			
第3回日本大会 山形蔵王山		第7回オーストリア	
当時の国体は第4回と いっている 会費500円		第8回カナダ	
8. 1~5 第1回日本ジャンボリー 長野県、軽井沢			
		第9回イギリス	
8. 6~10 第2回日本ジャンボリー 滋賀県、琵琶湖畔 楽庭野(あいばの)		第10回フィリッピン マッキリン国立公園 10名参加	
			アメリカジュビリー ジャンボリー コロラド、スプリングス 岩国1団2名参加

各種大会一覽表

	BS県大会	BS少年幹部県大会	BS中国大会	BS西日本大会
昭36 1961				8. 7~10 403名 岡山県蒜山高原
昭37 1962				
昭38 1963	国体奉仕活動実技研修 大会 防府市航空自衛隊			
昭39 1964				
昭40 1965				
昭41 1966				
昭42 1967		8月10日~13日 宇部市常盤湖畔 200名		
昭43 1968				
昭44 1969	創立20周年野営大会 8月2日~5日 玖珂町鞍掛野営場 933名 会費 1,500円			
昭45 1970				

日本ジャンボリー		世界ジャンボリー	
第1回 アジアジャンボリー 第3回日本ジャンボリー 静岡県、御殿場 506名 会費 2,000円			
		第11回ギリシヤ マラトン海岸 岩国1団吉岡君参加	
第4回日本ジャンボリー 8月5日～9日 岡山県 日本原 504名 会費 2,000円			
		第12回アメリカ 7月29日～8月29日 3名参加	
			第1回九州野営大会 8月2日～6日 参加 128名
第5回日本ジャンボリー 8月6日～10日 静岡県 朝霧高原			

日連・県連業務一覽表

	山口県連年次総会	山口県連 需品部	山口県連 事務局	日連中央理事	
23 1948	第1回設立総会 9月10日 本願寺会館 (山口市)		中所 泰		
24 1949	臨時総会 4月23日 山口市本願寺会館 23年度総会 9月10日		中所 泰		
25 1950			森 基教		
26 1951					第1回中国大会 岡山市
27 1952	第4地区 6月8日 宇部市				
28 1953	第3地区 6月14日 小郡町		兼安哲丸		第2回中国大会 広島市
29 1954	第3地区 6月6日 防府市 毛利邸		永松省治		
30 1955	第3地区 5月22日 防府市 毛利邸		永松省治		第3回 中国ブロック大会 8月13日~15日 岩国錦川
31 1956	第3地区 4月22日 小郡町 公民館		永松省治		
32 1957	第3地区 4月14日 防府市 多々良 毛利邸		永松省治		
33 1958	第3地区 5月11日 山口市 山泉荘		永松省治		
34 1959	第3地区 5月24日 防府市 毛利邸		永松省治		岡山県 12月12日~13日 岡山市
35 1960	第3地区 4月24日 小郡町 公民館		永松省治		

中国ブロック当番県 中国ブロック会議	中国実修所	中央理事会 中央名誉会議	指 名 理 事
	第2回山口県 8月18日～24日(6泊7日) 鑄銭司村長沢の池 名誉所長 三島通陽 所 長 田村 保 副 所 長 尾崎忠次		
	第1回山口県 8月24日～30日(6泊7日) 小野田市江汐 隊長 尾崎忠次		
	島根県 三井ノ原8月1日～7日 中国ブロック指導 者研修会		
	中国地区研修所 8月4日～10日 島取県大山村		
岡山県 10月30日～31日 岡山市			
広島県 11月26日～27日 広島市双葉の里	第5回中国地方 指導者研修所 8月20日～26日 岡山県金光町 所長 吉川哲雄		
山口県 11月10日～11日 山口市湯田 かめ福			
島根県 5月2日～3日 松江市岩田屋	第1回中国実修所 8月19日～25日 広島県宮島 所長 山口膳治		
島根県 33年1月25日～26日 松江市 玉造、松の湯			
鳥取県 34年1月11日 鳥取市 岡山市3月23日	第1期 B S コース 9月21日～26日 山口県		
広島県 35年11月 広島市	第2期 B S コース 7月		

	山口県連年次総会	山口県連 需品部	山口県連 事務局	日連中央理事	
36 1961	第3地区 4月16日 小郡町 公民館		小島孝悳		
37 1962	第3地区 4月15日 山口市 山泉荘	需品部移転 5月10日 山口市 杉本運動 具店	永松省治		
38 1963	第3地区 4月21日 山口市 防長苑	◇	永松省治		
39 1964	第3地区 4月19日 山口市 山泉荘	◇	永松省治		
40 1965	第1地区 4月25日 岩国市 米平旅館	◇	永松省治		
41 1966	第2地区 4月17日 徳山市 湯野温泉	◇	永松省治	河野章二	
42 1967	第3地区 4月30日 山口市 柳井旅館	◇	永久鉄哉	河野章二	
43 1968	第4地区 4月21日(日) 宇部市 勤労者少年会館	◇	永久鉄哉	河野章二 日連諮問委員 岡寺正夫	
44 1969	第3地区 2月2日防府市 公会堂 第5地区 4月27日下関市 中央公民館	◇	永久鉄哉	河野章二	

中国ブロック当番県 中国ブロック会議	中国実修所	中央理事会 中央名誉会議	指名理事
山口県 36年11月25日～26日 山口市	C S コース 7月 山口県石城山		
島根県 38年2月14日～15日 松江市	第3期 8月17日～22日 島根県三瓶山	日連理事 河野幸二	日連参与 中丸岩吉
鳥取県 39年2月8日～9日 鳥取市白兔苑	第4期 岡山県		
岡山県 40年3月6日～7日 岡山市まきび荘	第5期 8月24日～29日(B S) 広島県 2名	岡山 金光 整雄 山下 幸一	
広島県 41年1月29日～30日 広島市 郵政会館	第6期 8月13日～19日 山口県(B S) 石城山道場(大波野)	岡山 金光 整雄 山下 幸一 山口 河野 章二	
山口県 42年2月 山口市湯田 翠山荘		岡山 金光 整雄 山下 幸一 山口 河野 章二	
島根県 3月23・24日 玉造温泉 背美旅館 (2,500円)	第8期 8.3-8 鳥取県 大山道場 所長小川玄諦 第9期 8.21-26 広島県 所長伊藤孝道	鳥取 縫谷 誠三郎 島根 角井 義雄	広島 松下一男
鳥取県 44年3月1日～2日(土,) 鳥取市新温泉 会費1県 2,000円 宿泊1人 2,500円	C S 第2期 8月21日～26日5泊6日 岡山県 金光道場 所長 佐藤俊夫 所員 小島孝悳	岡山 金光 整雄 鳥取 縫谷 誠三郎 山口 河野 章二 島根 角井 良雄	広島 松下一男
	ウッドバッジ研修所 第1期カブコース 8月21日～24日 広島工大セミナーハウス 所長 佐藤俊夫	継	広島 松下一男

各種指導者養成 講習会一覽表

少年部指導者養成講習会

回数	年	月	日	開	催	地	主任講師	受講者数
1	22.	10.	15~10. 22	山口市法泉寺			田村 保	18
2	〃	10.	21~10. 25	〃			〃	11
3	23.	1.	15~1. 16	〃 本願寺会館			三島通陽	
4		8.	7~8. 10	下関市一の宮			田村 保	40
5	〃	11.	15~11. 19	小野田市中川町山手附近			〃	17
6	24.	5.	22~ 5. 24	山口市嘉川			森 基教	
7	〃	7.	6~ 7. 9	大島郡小松町笠佐島			〃	
8	〃	12.	5	湯本大寧寺			中田清一	
9	25.	6.	17~6. 20	長府毛利亭			兼安哲丸	30
10	〃	7.	28~7. 31	三隅町明峯寺			中田清一	
11	〃	8.	27~8. 30	岩国市灘小学校			宮本正次	41
12	〃	12.	9~12. 11	山口市古熊善正寺			中田清一	13
13	26.	5.	9~5. 12	宇部市教念寺			〃	28
14	〃	7.	21~7. 24	防府市阿弥陀寺			〃	
15	〃	9.	7~9. 10	徳山市櫛ヶ浜蓮生寺			〃	32
16	27.	7.	21~7. 24	光市			兼安哲丸	
17	28.	10.	2~10. 5	宇部市教念寺			〃	12
18	29.	5.	2~5. 5	小郡町東津妙堪寺			永松省治	18
19	〃	8.	20~8. 23	仙崎青海島小学校			桑原法道	31
20	30.	8.	20~8. 22	下松市下松高校			河野章二	12
21	31.	8.	25~8. 27	萩市東光寺			〃	24

回数	年	月	日	開 催 地	主任講師	受講者数
22	32.	9.	21~9. 23	岩国市本能寺	宮本正次	12
23	33.	10.	18~10. 20	美禰市於福公民館	河野章二	31
24	34.	6.	13~6. 15	宇部市東岐波公民館	宮本正次	24
25	〃	10.	17~10. 19	山口市宮野常栄寺	太田耕作	22
26	35.	6.	3~6. 5	萩市中央公民館	古田 弘	22
27	〃	8.	4~8. 6	柳井市柳井中学校	宮本正次	21
28	36.	8.	18~8. 20	下関市日新中学校	五島光蔵	
29	37.	5.	26~5. 28	防府市阿弥陀寺	太田耕作	23
30	〃	9.	14~9. 16	美禰市於福公民館	横山貞次	13
31	〃	12.	1~12. 3	石城山青少年宿泊訓練所	岡寺正雄	23
32	38.	5.	25~5. 27	秋穂町秋穂中学校	太田耕作	27
33	39.	5.	30~6. 1	宇部市青年の家	中板孝祐	19
34	〃	7.	25~7. 27	下関市日新中学校	横山貞次	12
35	40.	5.	22~5. 24	美禰市於福公民館	〃	26
36	41.	7.	9~7. 11	都濃郡鹿野町学校寄宿舎	〃	36
37	42.	5.	19~5. 21	玖珂町周東町通化寺	古田 弘	33
38	〃	10.	21~10. 24	山口市小鯖禅昌寺	小島孝悳	25
39	43.	6.	22~6. 24	光市室積町新開福祉センター	永松省治	30
40	〃	7.	27~7. 29	下関市長府中の町正円寺	古田 弘	21
41	44.	6.	21~6. 23	大島町海洋訓練所	武内正一	41

カブ スカウト指導者養成講習会

回数	年	月	日	開 催 地	主任講師	受講者数
1	32.	1.	15~1. 16	下松市旭町浜田旅館	井上 茂	16
2	33.	5.	13~5. 15	岩国市	宮本正次	32
3	34.	3.	21~3. 22	岩国市通津公民館	〃	18
4	35.	10.	28~10. 30	石城山青少年宿泊訓練所	小島孝惇	19
5	36.	5.	12~5. 14	宇部市東岐波公民館	〃	44
6	39.	3.	20~3. 22	大島町青少年海洋訓練所	〃	8
7	40.	11.	6~11. 8	石城山青少年宿泊訓練所	横山貞次	13
8	42.	11.	24~11. 26	石城山青少年宿泊訓練所	小島孝惇	14
9	44.	8.	23~8. 25	岩国市通津 通津公民館	〃	15
10	〃	10.	28~10. 30	宇部市琴芝 宇部婦人会館	横山貞次	10

ギルウエル、ウッド バッチコース修了者 (年齢は受講当時)

No	氏名	年齢	役職	期別	期日	会場	所長	ウッドバッチ 伝達年月日
1	河野章二	45	理事長	1	32. 5. 25~6. 2	山中野営場	古田誠一郎	
2	太田耕作	36	県コミ	4	35. 8. 17~25	那須野営場	古田誠一郎	36. 5. 21
3	横山貞次	35	S M	4	〃	〃	〃	
5	小島孝惇	41	理事長	C1	35. 8. 25~30	〃	〃	37. 5. 13
6	森口泰助	34	S M	5	36. 5. 27~6. 4	〃	尾崎忠次	〃
7	中板孝祐	30	〃	6	36. 8. 6~10	〃	〃	〃
8	古田 弘	41	〃	7	37. 8. 18~26	〃	吉川哲雄	
9	岡寺正夫	41	団委員	7	〃	〃	〃	
10	永松省治	36	S M	C4	38. 8. 25~30	〃	尾崎忠次	
11	永久鉄哉	53	事務局長	16	42. 8. 21~29	〃	山田利雄	福岡で 43. 5. 19
12	亀山俊雄	40	県副コミ	16	〃	〃	〃	〃
13	武内正一	43	地区コミ	16	〃	〃	〃	〃
14	満長明德	34	地区副コミ	16	〃	〃	〃	〃
15	野川忠信	45	美禰1.副長	19	43. 8. 21~28	〃		東京 44. 5. 18

日連・県連 各種褒彰受賞一覽表

日連・県連各種褒彰受賞一覧表

	隊 褒 彰 綬				特別年功章	
	5年綬	10年綬	15年綬	20年綬	5年章	10年章
30	岩国1. B 下松1. B 防府1. B				小島孝悯	
31	岩国2. B 下関1. B 吉敷2. B				太永岡熊石細引小 田松迫本津田頭野 耕省孝光勝久義秀 作治雄雄治雄男芳	
32	山口1. B 宇部7. B					
33		山口1. B				
34	萩 4. B	宇部7. B				
35						
36	光 1. B 宇部11. B				光1. 田村敏雄 宇9. 森口泰助	
37	宇部13. B	下松1. B 防府1. B 下関1. B 萩 3. B			岩1. 白本博彬 萩3. 中村万喜夫 〃 波多野恵児	岩1. 小島孝悯
38	岩国1. C 下関2. B	下関11. B 美禰1. B 長門1. B			郡1. 引頭義雄 宇9. 黒田実雄 〃 13. 中板孝祐 〃 藤本茂年 〃 納谷善光 〃 河口治通	防1. 太田耕作
39	秋穂1. B 小郡1. B 山口2. B 宇部14. B 美禰1. B-2	柳井1. B 徳山1. B 下関2. B	岩国1. B 〃 2. B		岩2 嘉屋修光 〃 茶谷正義 柳1. 野口治夫 〃 桑原法道 松1. 新谷孝司 〃 棟居康二 防1. 三坂玉良 〃 吉村栄泰 宇14. 山下幹司 〃 渡壁克己 関12. 津森泰夫 美1. 野川忠信	松1. 永松省治 関1. 石津勝治 宇9. 森口泰助 郡1. 引頭義雄 関2. 安田秋夫 美1. 横山貞次 〃 宝来鉄男 〃 松野盛夫 長1. 古田 弘
40	萩 3. S	徳山4. B 宇部11. B	光 1. B 下松1. B 防府1. B 宇部7. B		徳1. 松田一郎 〃 4. 寺岡明德 〃 福本康人 〃 藤井 武 萩3. 平井勝義 〃 松本誠人 郡1. 宮本研造 〃 岡本恵達 山1. 永久鉄哉 宇11. 三宅和夫	

県特別感謝状	県感謝状	県褒状	善行章	善行綬
	山口ロータリークラブ 山口ライオンズクラブ 山口青年会議所 郡1. 中村政一 防1. 安部義正 美1. 沖中 優	岩1. 田村敏雄 郡1. 引頭義雄 関1. 岩崎一成 々2. 安田秋夫 美1. 宝来鉄男 々 野川忠信 々 草村 実 々 松野盛夫		
	下関 宮崎 潔 長門ロータリークラブ 柳井ライオンズクラブ 長門 板村 豊 々 吉津友治 宇部 世良憲治 々 徳永勝亮 山口 作間正朝 光 桜井武治 柳井 木村亀治郎 防府 山根 勝			
	美禰 木下俊夫 宇部 黒田実雄 美禰 三浦孝一 宇 森口泰助 防府ライオンズクラブ			

有功章	郭公章	鷹章		
			鳩章 田村 保 S 31. 512.	
			鳩章 中丸岩吉 河野章二	公共奉仕章 岡迫 孝雄
			県教委表彰 岩国1 団	
			防府1 団	
中丸岩吉 河野章二 藤井英夫	永松省治 宮本正次	県知事 小沢 太郎		
桑原法道 中板孝祐 細田久雄			県教委表彰 永松省治	
小島孝悳 古田弘 大河保英夫	五嶋光藏 阿山勇祐 山本春江 末山正顕	太田耕作 県教育長 藤本 菊二	衆議員 田中 龍夫	公民章 吉岡春紀 河野宏志 田中洋輔
太田耕作 横辻永	小島孝悳		公共奉仕後 岩国1 団少年隊	
隅田悟郎 増永繁男	横山貞次			
	五嶋光藏	県知事 橋本 正之	県教委表彰 川添 常一 全国社会教育 協会表彰 中丸 岩吉	

日連・県連各種褒彰受賞一覧表

	隊 褒 彰 綬				特別年功章	
	5年綬	10年綬	15年綬	20年綬	5年章	10年章
4 1	下関12. B 萩 5. B	萩 3. B	山口1. B		萩5. 池田幸一 〃 齊藤武男 山1. 佐内昭雄	関12. 津森泰夫 秋1. 西村譲治 〃 平原昭重 〃 原野哲郎 萩5. 後藤泰昭 〃 津村和彦 徳4. 岡寺正夫
4 2	岩国1. S 田布施1. B 山口3. B 宇部15. B	小郡1. B			山3. 亀山俊雄 宇14. 徳重雅直 山2. 佐波成真 柳1. 児玉 洋	萩3. 波多野恵見
4 3	徳山6. B 山口2. S 山口4. B	宇部13. B 〃 14. B	下関11. B	山口1. B	田布1. 山田康人 萩1. 原田重男 山4. 末永好勝 萩3. 宮本俊雄 防4. 山田義昭 萩4. 三上淳信 〃 岡野正人	宇13. 中板孝祐 防2. 三坂玉良
4 4	岩国3. B 小郡1. C 萩 4. B 防府4. B 美禰1. C 〃 1. B-3	山口2. B 岩国1. C 萩 3. S	下関1. B 柳井1. B 下関2. B 美禰1. B-1	下関1. B 岩国1. B	防1. 林 英夫 宇15. 茨木 晃 関1. 満長明德 萩4. 岡 弘 田布1. 木山静彦 〃 1. 惣田克彦 下関2. 真柴陽一 美1. 草村 実 〃 1. 鈴木正芳 萩5. 阿部 正 宇14. 徳繁雅通	下1. 棟居康二 美1. 野川忠信 萩3. 松本誠人

県特別感謝状	県感謝状	県褒状	善行章	善行綬
	山口県経営者協会 教育長藤本菊二 田布施町長 秋芳町長 小郡 田中孝一 防府ロータリークラブ 下関ライオンズクラブ 小郡 森重利雄 小郡 大草安一 秋芳 斉藤秀千代 〃 村木清治	防2. 三坂玉良 山1. 佐内昭雄 萩3. 中村万喜夫 〃 波多野恵見 〃 4. 三上淳信 〃 5. 後藤泰昭 関12. 津守泰夫 宇7. 藤川富男 〃 佐藤 巽		
	美禰 牛尾美鶴 関 大西賢一良 宇部 木落 満 〃 佐伯正道 〃 滝原常雄 美禰 堀 新吾 防府連合婦人会 〃 松原秀雄			
宇部スカウト育 成協議会 下関 スカウトクラブ 古田 弘 亀山 俊雄	岩国桜ライオンズクラブ 〃 工業クラブ 岩国ライオンズクラブ 〃 ロータリークラブ 岩国錦ライオンズクラブ 防1. 久和勲治郎 〃 中央ライオンズクラブ 〃 3. 鉢嶺守恒 宇部ロータリークラブ 〃 西 〃 萩3. 山根信太郎 萩ロータリークラブ	田布1. 山田康人 徳6. 坪井清治 山4. 末永好勝 萩3. 宮本俊雄 萩1. 原田重雄 防4. 山田義昭 萩4. 岡野正人		
小 高 孝 惇 (中国実修所奉仕 カブコース)	下関 大筋重助 〃 西村正人 〃 高木友三	(交通安全模範行為) 須1. 田村雅利 〃 伊藤 勇 防1. 林 英夫 宇15. 茨木 晃 関1. 滝長明德 萩4. 岡 弘 田布1. 木山静彦 〃 惣田克彦 関2. 真柴陽一 美1. 草村 実 〃 鈴木正芳 宇14. 徳繁雅通 岩1. 白本博彬 下1. 榎居康二 美1. 野川忠信 萩3. 松本誠人	田布施1. 年長班	

<p>有功章</p>	<p>郭公章</p>	<p>鷹章</p>		
<p>永野 鐵 哉 河津 一 雄 石東 勝 治 安富 一 光 長 春 一</p>	<p>岡寺正夫 末山正顯 小郡田中孝一</p>	<p>中丸岩吉 河野章二</p>		
	<p>桑原法道</p>			
<p>村武 清 治 山根 正 一 瀧原 常 勝 雄</p>	<p>龜山俊雄 古田 弘</p>			
<p>森重利雄(監事)</p>			<p>(人命救助綏) 田布施1.年長班</p>	

年度別登録状況一覧表

年度別登録状況一覧表

第1地区

隊名		24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	
岩国	1 C											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〃	1 B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〃	1 S															○	○	○	○	○	○	○	
〃	2 B		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〃	2 B ₂															○	○						
〃	2 S															○	○	○	○	○			
〃	3 B																	○	○	○	○	○	
玖珂	1 B	○	○																				
〃	2 B	○	○	○	○	○	○	○	○														
〃	3 B	○	○	○																			
〃	4 B			○																			
大島	1 B	○																					
〃	2 B	○																					
〃	3 B	○	○	○																			
〃	4 B	○	○																				
〃	5 B	○	○																				
〃	6 B		○																				
〃	6 B		○																				
柳井	1 B	○	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〃	2 B																	○	○	○	○	○	
〃	3 B																					○	
和木	1 B														○			○	○	○	○	○	
周東	1 B														○			○	○	○			
田布施	1 C																					○	○
〃	1 C ₂																					○	○
〃	1 B															○	○	○	○	○	○	○	○
〃	1 B ₂																○	○					
大島	1 B																				○	○	○

第2地区

隊名		24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44		
光	1	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
〃	1	S																○	○					
熊毛	1	B	○																					
徳山	1	B		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
〃	2	B			○												○	○						
〃	3	B						○	○	○	○	○	○	○	○									
〃	4	B						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
〃	5	B												○	○	○	○	○	○	○				
〃	6	B														○	○	○	○	○	○	○		
下松	1	B		○	○	○											○	○	○	○	○	○		
〃	2	B			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
〃	3	B				○																		
都濃	1	B		○	○																			
〃	2	B		○																				
〃	3	B			○	○																		
鹿野	1	B																			○	○	○	○

第3地区

隊名		24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
山口	1	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
"	2	B	○	○	○								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
"	2	S															○	○	○	○	○	○
"	3	B	○	○	○								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
"	4	B	○	○											○	○	○	○	○	○	○	○
"	5	B	○	○																		○
"	6	B	○	○	○																	
"	7	B	○	○																		
"	8	B				○	○	○														
吉敷	1	B	○	○																		
"	2	B			○	○	○	○	○	○												
"	3	B			○	○	○	○	○	○												
小郡	1	C																○	○	○	○	○
"	1	C ₂																				○
"	1	B									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
秋穂	1	B											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
防府	1	B			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
"	2	B														○	○	○	○	○	○	○
"	3	B														○	○	○	○	○	○	○
"	4	B																○	○	○	○	○
"	5	C																		○	○	○
"	5	B																	○	○	○	○

第4地区

隊名	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	
宇部 1	B	○	○																			
〃 2	B	○	○	○										○	○	○	○	○				
〃 2	B ₂														○	○	○	○				
〃 3	B		○	○																		
〃 4	B		○	○																		
〃 5	B	○	○																			
〃 6	B	○	○																			
〃 7	B			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃 8	B		○																			
〃 9	B		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
〃 10	B		○																			
〃 11	B						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〃 12	B							○														
〃 13	B									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〃 13	B ₂											○	○	○	○							
〃 13	S													○	○							
〃 14	B										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
〃 15	C																	○	○	○	○	
〃 15	B														○	○	○	○	○	○	○	
〃 15	S																	○	○			
小野田 1	B	○	○	○																		
〃 2	B	○								○	○	○	○	○	○							
〃 3	B	○	○	○																		
〃 4	B	○	○																			
〃 5	B		○	○			○	○	○													
〃 6	B		○	○																		
〃 7	B							○														
厚狭 1	B	○	○	○																		
〃 2	B	○																				
〃 3	B			○																		
山陽 1	B																				○	

第5地区

隊名	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	
豊浦 1	B	○					○	○	○	○	○			○		○	○	○				
” 3	B		○																			
” 4	B						○															
下関 1	B		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
” 2	B						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
” 3	B		○				○	○	○									○	○	○	○	
” 4	B		○																			
” 5	B			○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
” 6	B		○	○			○	○	○													
” 7	B			○																		
” 8	B		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○
” 10	B			○																		○
” 11	B			○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
” 12	B		○											○	○	○	○	○	○	○	○	○
” 13	C																					○
” 13	B																			○	○	○
豊北 1	B												○	○	○	○	○	○	○			
” 1	S																○	○				

第6地区

隊名		24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
美 瀬	1 C																	○	○	○	○	○
〃	1 B	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	1 B ₂																○	○	○	○		
〃	1 B ₃																○	○	○	○	○	○
〃	2 B												○	○	○			○	○	○	○	○
〃	3 B															○	○	○	○			
長 門	1 B	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	2 B													○	○	○	○	○				
大 津	1 B	○																				
〃	2 B	○	○																			
〃	3 B		○																			
阿 武	1 B	○	○	○																		
萩	1 B								○													
〃	2 B								○	○	○	○			○	○						
〃	3 B								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	3 S												○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	4 B								○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
〃	5 B								○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃	6 C																				○	○
秋 芳	1 B													○	○	○	○	○	○	○	○	
三 隅	1 B																					○
須 佐	1 B															○	○	○	○	○	○	○

あ と が き

○ボーイスカウト山口県連盟が戦後、日本連盟に正式登録したのは昭和24年5月23日で、本年で満20年の月日を迎える。この意義ある年の記念行事として野営大会、式典と合わせて、「20年の歩み」をまとめてみようとする話が盛り上がった。私としてもスカウト歴も少なく、先輩たちの跡を知る上でもこの上ない話だと心を動かした。処がいざ編集に当たってみると、小生自身の不勉強もあって、何から手をつけるべきか暗中模索であった。しかし、まず、多くの記録の整理からはじめた。続いて中丸先達からゆずり受けた「少年団研究」を一枚一枚めぐりどこかに山口県関係の事項はないかと探し求めた。一方県連永久事務局長では県連事務局として記録の整理にかかっていた。

○何れにしてもスカウト歴の短い私には、仕事が進まないもどかしさ……えらいものを引き受けたとまた反省がダブって来た。この機会にこそこの、不備なものでも一応山口県連の歩みを記録の上で整理しておけばと考え、努力した。もちろん多くの先輩たちの御協力と資料提供あってのことについては、いうまでもなく、ここに厚く感謝の意を表わしたいと思います。

○でき上ってみると、多くの不備な点があり、またこの内容も入れたいなど複雑な感情と一方喜びとが残るのみです。何分にも初版として勘弁して下さい。増版改訂版の土台にしていただければ、この上ない喜びでもあります。この本は、山口県連の歩みの記録であると同時に県連の歩みの反省記録でもある。

(満長生)

発行日 昭和45年4月1日

発行者 ボーイスカウト山口県連盟

発行人 県連理事長 小島孝惇

編集者 永久鉄哉・武内正一・満長明德

印刷所 第一印刷有限会社